

訪日外国人の消費動向

インバウンド消費動向調査結果及び分析

2024年7-9月期 報告書

訪日外国人の消費動向

2024年7-9月期 報告書

目次

I 訪日外国人の消費動向の分析結果

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

- (1) 全目的 …………… 3
- (2) 観光・レジャー目的 …………… 9

2. 訪日外国人の旅行支出

- (1) 旅行支出の構造 …………… 13
- (2) 旅行前支出 …………… 14
- (3) 旅行中支出 …………… 14
- (4) 旅行支出の推計 …………… 16
- (5) 費目別にみる旅行支出 …………… 18
- (6) 来訪目的別にみる旅行支出 …………… 19
- (7) クルーズ客の旅行中支出 …………… 19

3. 土産品の購入実態

- (1) 費目別購入率 …………… 20
- (2) 費目別購入者単価 …………… 20
- (3) 買物場所 …………… 21
- (4) 利用した決済方法 …………… 21
- (5) 消費税免税手続きの実施状況 …………… 22

4. 満足度と再訪意向

- (1) 訪日旅行全体の満足度 …………… 23
- (2) 日本への再訪意向 …………… 23
- (3) 最も満足した購入商品 …………… 24
- (4) 最も満足した飲食 …………… 24

5. 旅行情報と旅行情報源

- (1) 出発前に役に立った旅行情報源 …… 25
- (2) 出発前に旅行情報を得た言語 …… 25
- (3) 日本滞在中に役に立った旅行情報源 26
- (4) 日本滞在中に役に立った旅行情報 …26

6. 日本滞在中の行動

- (1) 訪日前に期待していたこと …… 27
- (2) 今回したことと次回したいこと … 28
- (3) 今回したことの満足度 …… 28
- (4) 利用した交通手段 …… 29

「インバウンド消費動向調査」は、次に示す3つの調査から構成されている（それぞれの調査の概要についてはII編を参照のこと）。

【A1 全国調査】

【B1 地域調査】

【B2 クルーズ調査】

本報告書のI編は【A1 全国調査】及び【B1 地域調査】の結果を分析したものである。ただし、「2. 訪日外国人の旅行支出」におけるクルーズ客の消費動向では【B2 クルーズ調査】の結果を使用している。

Ⅱ インバウンド消費動向調査(旧 訪日外国人消費動向調査)について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的	31
(2) 調査の沿革	31
(3) 調査の根拠法令	31
(4) 調査の対象	31
(5) 抽出方法	32
(6) 目標精度と標本サイズ	32
(7) 調査事項	33
(8) 調査の時期	34
(9) 調査の方法	34

2. 用語の解説

(1) 主要項目	35
(2) 支出費目	37
(3) 買物場所	42

3. 調査の結果

(1) 表章事項	43
(2) 集計方法	43
(3) 調査結果の精度	44
(4) 利用上の注意	44

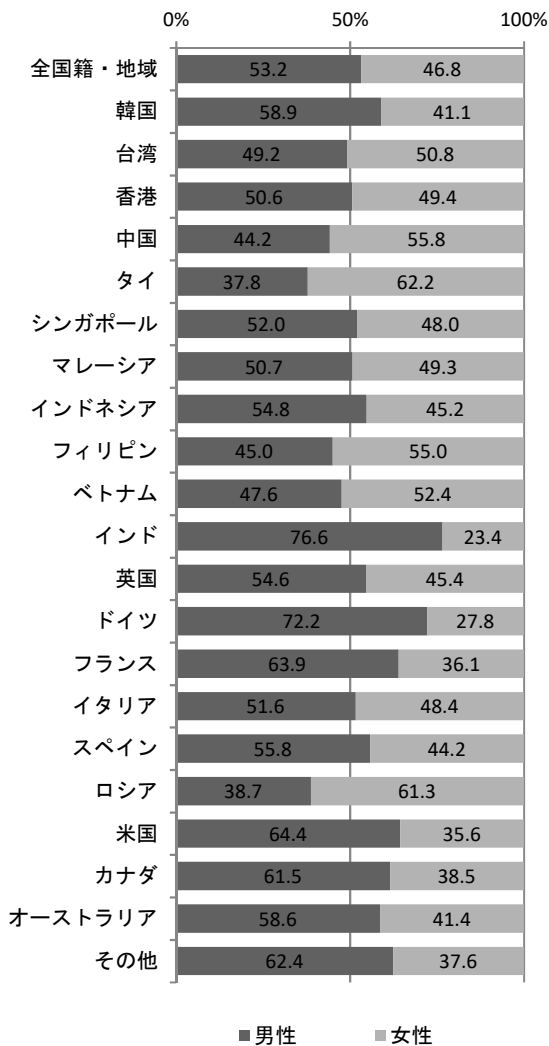
I 訪日外国人の消費動向の分析結果【2024年7-9月期】

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

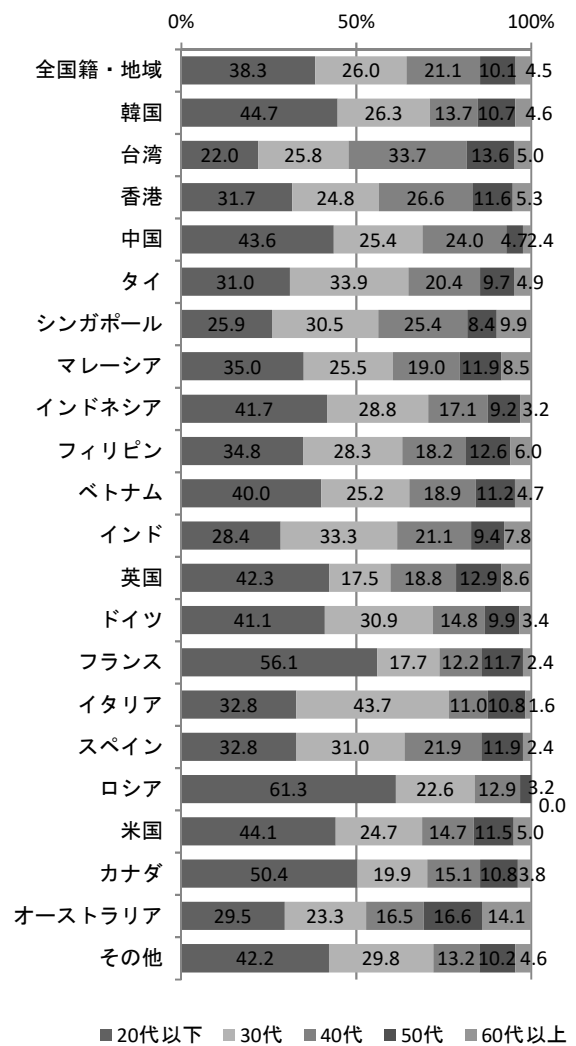
(1) 全目的

- 性別の構成比は「男性」が53.2%、「女性」が46.8%である（図表1-1）。
- 国籍・地域別では、台湾、中国、タイ、フィリピン、ベトナム、ロシアで「女性」の割合が5割を超える。一方、インド、ドイツでは「男性」の割合が7割を超える。
- 年代別の構成比は、「20代以下」(38.3%)と「30代」(26.0%)が高い（図表1-2）。（注：年代別構成比には調査対象外である15歳未満を含まない。）
- 性年代別では「男性20代」(16.9%)、「女性20代」(14.6%)、「男性30代」(14.2%)の順で多い。

図表1-1 性別（国籍・地域別、全目的）

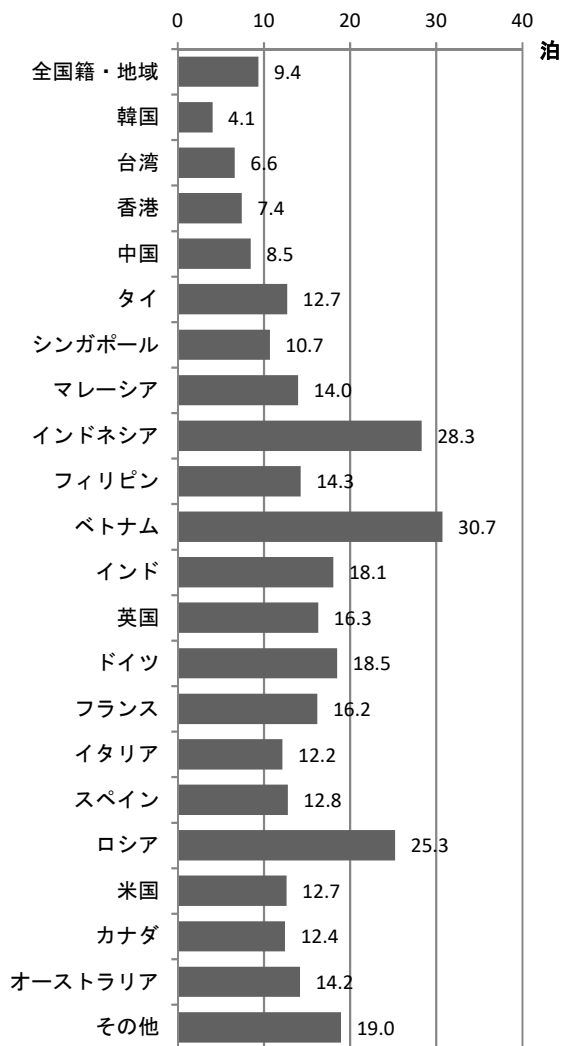


図表1-2 年代（国籍・地域別、全目的）

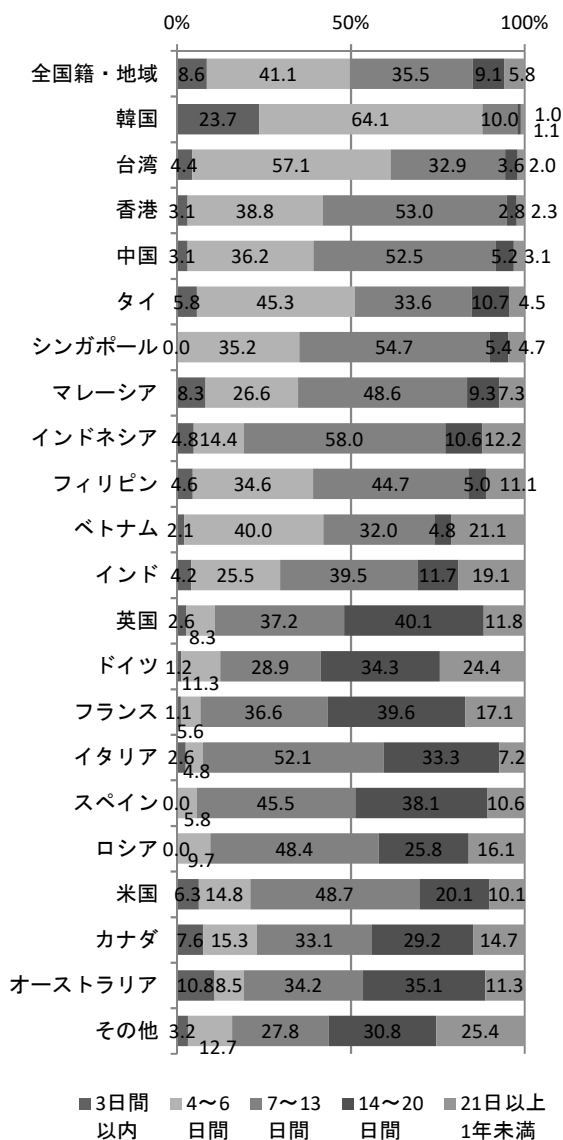


- 回答者全体の平均泊数は 9.4 泊である（図表 1-3）。
- 国籍・地域別にみると、ベトナムが 30.7 泊と長く、次いでインドネシアが 28.3 泊、ロシアが 25.3 泊となっている。一方、東アジア（韓国、台湾、香港、中国）は 10 泊未満と、他の国籍・地域に比べて平均泊数が短い。
- 滞在日数の分布をみると、6 日間以内の滞在者が約 5 割を占める（図表 1-4）。
- 国籍・地域別にみると、韓国で「3 日間以内」の割合が約 2 割と、他の国籍・地域に比べて高い。一方、ベトナム、ドイツでは 21 日以上の滞在者が 2 割超となっており、他の国籍・地域に比べて滞在日数が長い傾向がある。

図表 1-3 平均泊数（国籍・地域別、全目的）

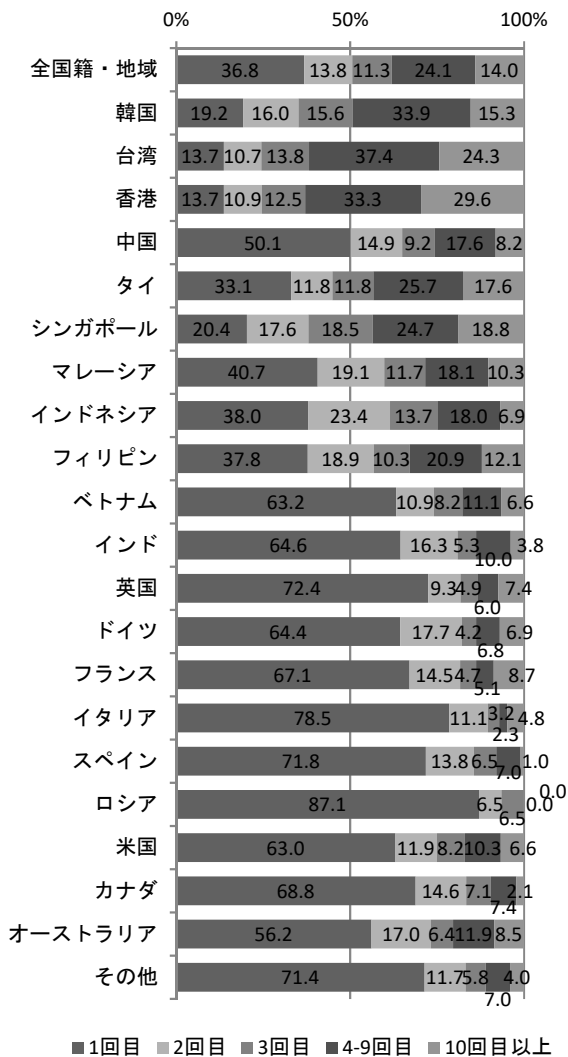


図表 1-4 滞在日数（国籍・地域別、全目的）

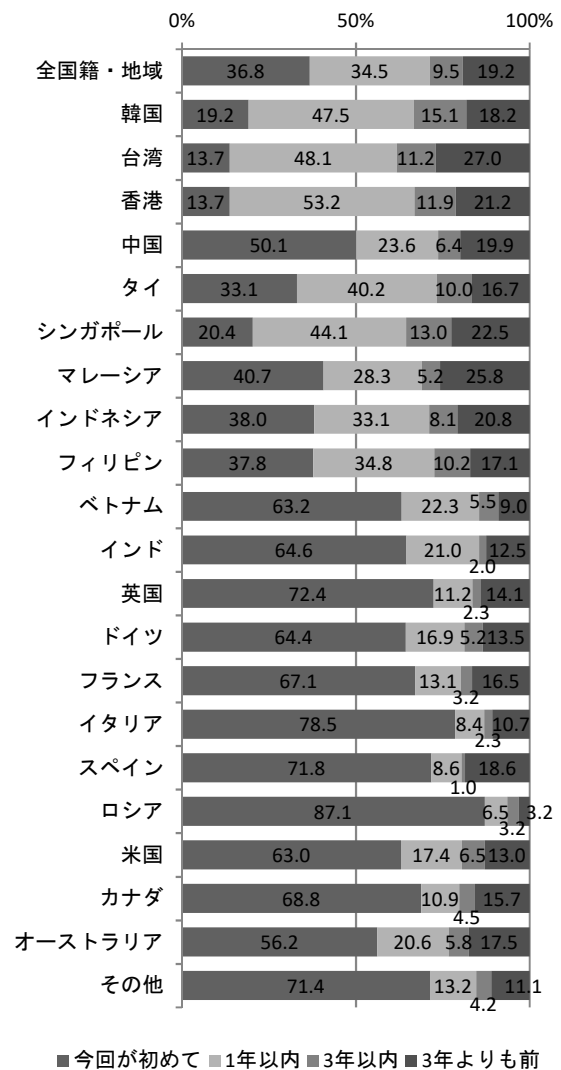


- 日本への来訪回数では、「1回目」が36.8%と最も多い。また、「4-9回目」が24.1%で次に多い（図表1-5）。
- 国籍・地域別では、英国、イタリア、スペイン、ロシアで「1回目」の割合が7割超と高い。一方、韓国（19.2%）、台湾（13.7%）、香港（13.7%）では「1回目」の割合が他の国籍・地域に比べ低い。
- 前回の日本への来訪時期では、「今回が初めて」を除くと、「1年以内」が34.5%と最も多い（図表1-6）。
- 国籍・地域別では、韓国、台湾、香港、タイ、シンガポールの「1年以内」の割合が4割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-5 来訪回数（国籍・地域別、全目的）

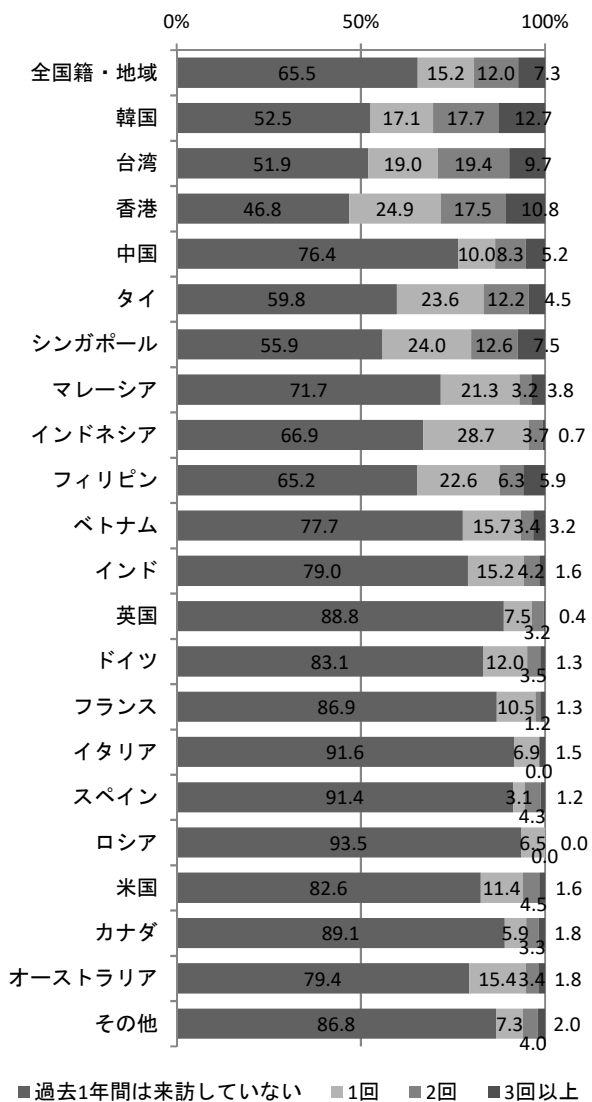


図表 1-6 前回の日本への来訪時期（国籍・地域別、全目的）

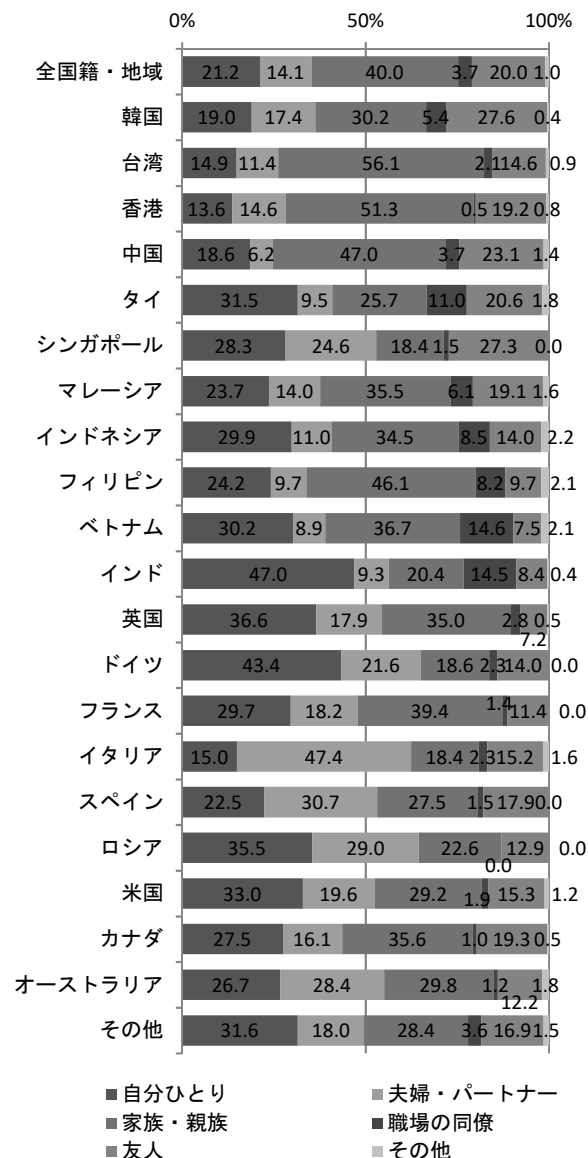


- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「過去1年間は来訪していない」（0回）が65.5%を占める（図表1-7）。
- 国籍・地域別にみると、過去1年間に2回以上日本を訪れている割合は、韓国（30.4%）、台湾（29.1%）、香港（28.3%）で他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は、「家族・親族」（40.0%）が最も多く、次いで「自分ひとり」（21.2%）、「友人」（20.0%）、「夫婦・パートナー」（14.1%）、「職場の同僚」（3.7%）の順となっている（図表1-8）。
- 国籍・地域別にみると、台湾、香港で「家族・親族」の割合が5割超と、他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-7 過去1年間の日本への来訪回数（国籍・地域別、全目的）

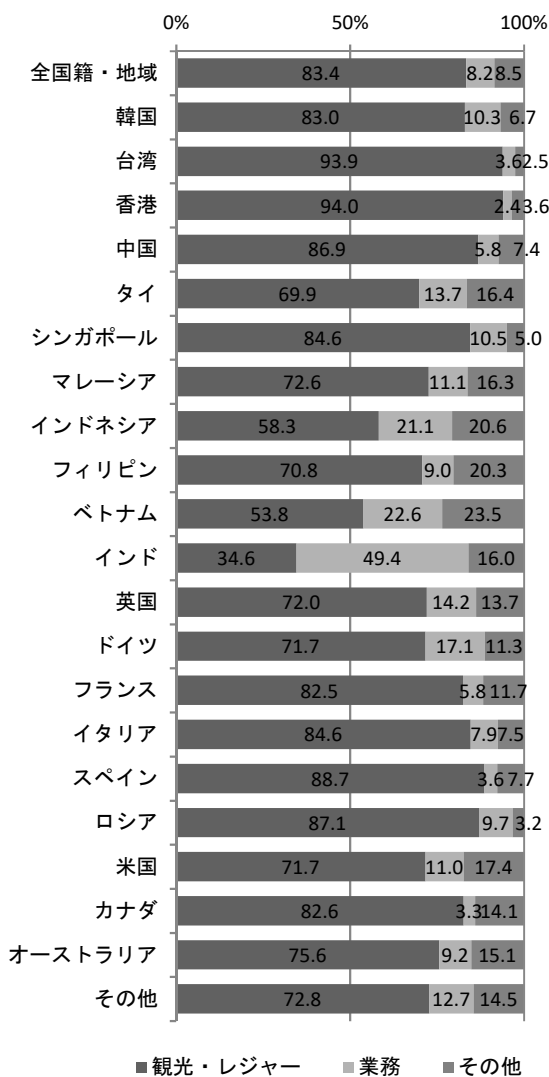


図表 1-8 同行者（国籍・地域別、全目的）

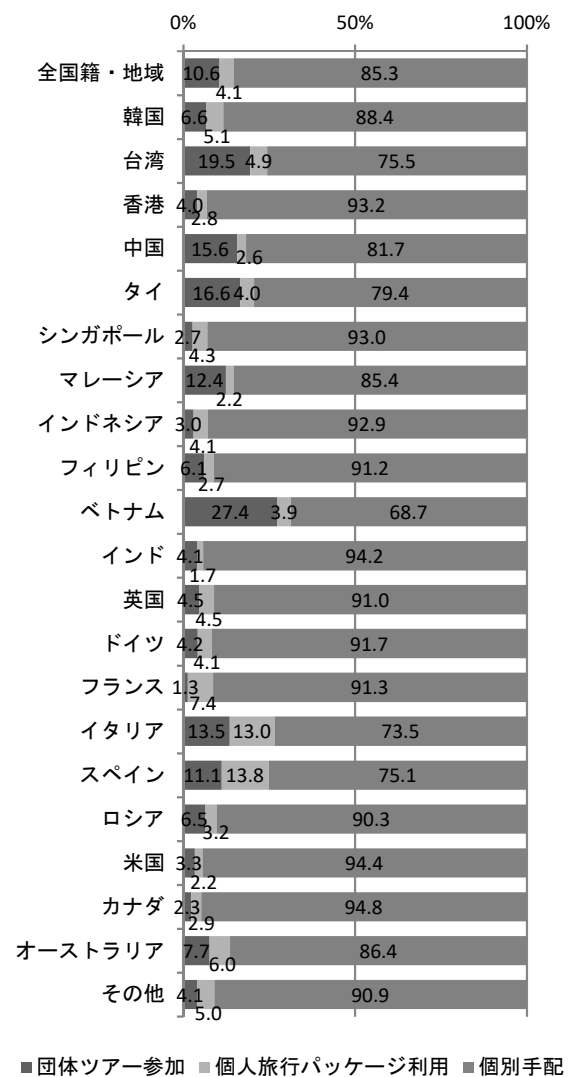


- 日本への主な来訪目的では「観光・レジャー」が全体の83.4%を占める。一方、「業務(展示会・見本市/国際会議/企業ミーティング/研修/その他ビジネス)」は全体の8.2%を占める(図表1-9)。
- 国籍・地域別では、「観光・レジャー」の割合が台湾、香港で9割超と高い。「業務」はインドで約5割と他の国籍・地域に比べ高い。
- 旅行手配方法では「旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した(以下、**団体ツアー参加**)」が10.6%、「往復航空(船舶)券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した(以下、**個人旅行パッケージ利用**)」が4.1%、「往復航空(船舶)券や宿泊等を個別に手配した(以下、**個別手配**)」が85.3%を占める(図表1-10)。

図表 1-9 主な来訪目的(国籍・地域別、全目的)

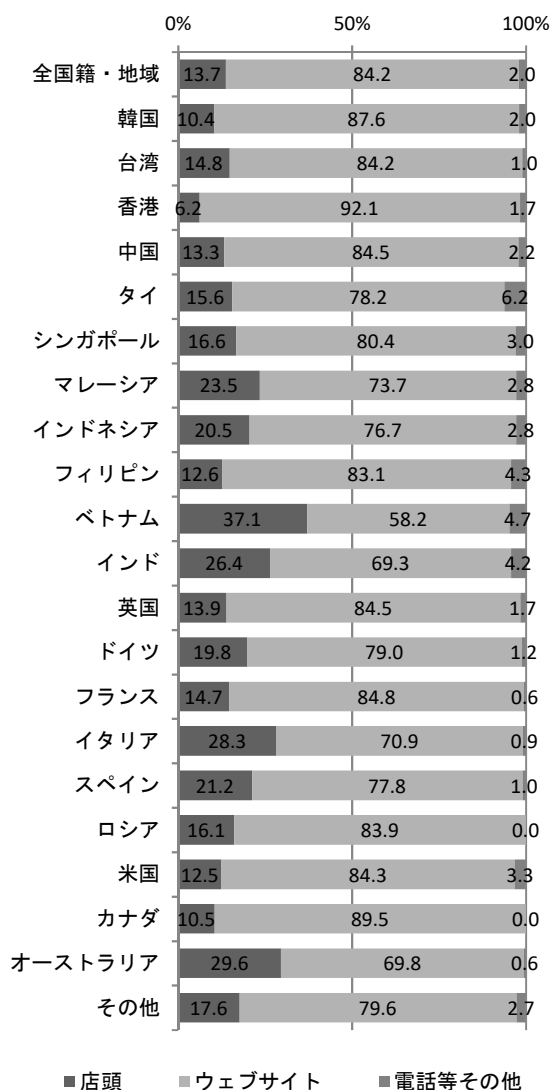


図表 1-10 旅行手配方法(国籍・地域別、全目的)



- ツアー商品や往復航空（船舶）券の**申込方法**では、「店頭（旅行会社や航空会社等）で申し込んだ（以下、**店頭**）」人の割合が全体の13.7%、「ウェブサイトから申し込んだ（以下、**ウェブサイト**）」人の割合が同84.2%を占める（図表1-11）。
- 国籍・地域別では、「店頭」の割合がベトナムで約4割、インド、イタリア、オーストラリアで約3割と高い。

図表 1-11 申込方法（国籍・地域別、全目的）

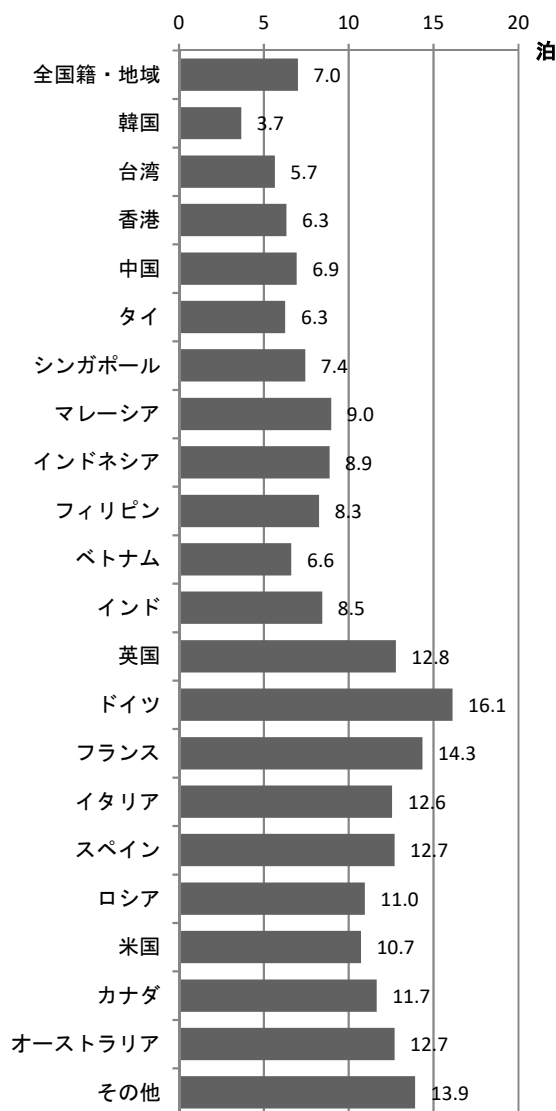


(2) 観光・レジャー目的

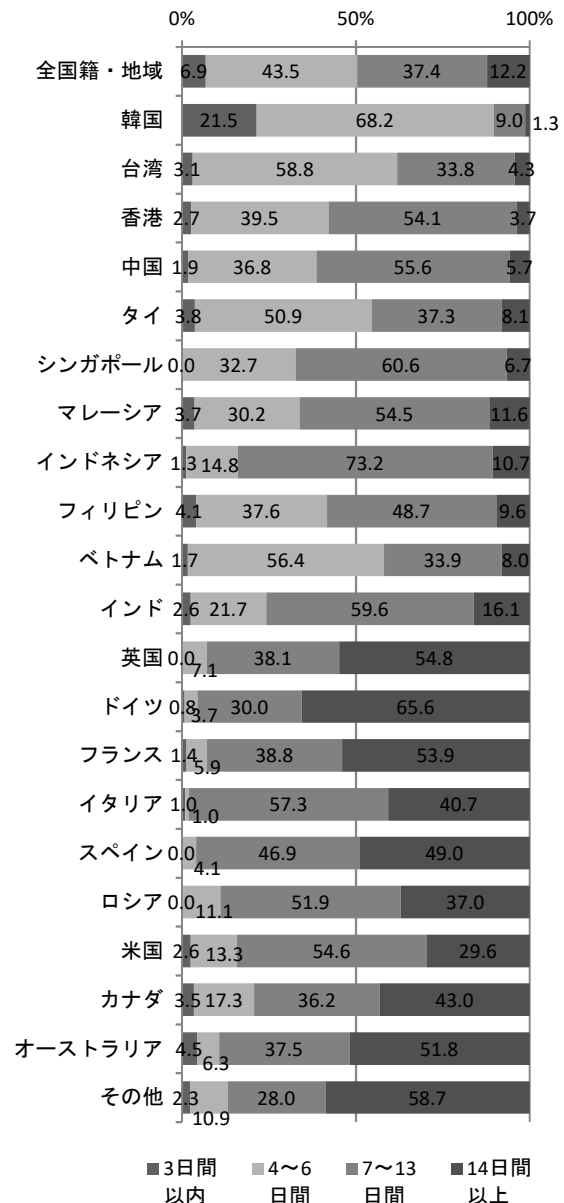
- 観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人の平均泊数は7.0泊である(図表1-12)。
- 国籍・地域別にみると、欧米豪で平均泊数が長い傾向にあり、特にドイツ(16.1泊)、フランス(14.3泊)が長い。

- 滞在日数では、「4～6日間」が43.5%を占める(図表1-13)。
- 国籍・地域別にみると、韓国では「3日間以内」の割合が21.5%と他の国籍・地域に比べて高い。英国、ドイツ、フランス、オーストラリアでは「14日間以上」の割合がいずれも5割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-12 平均泊数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

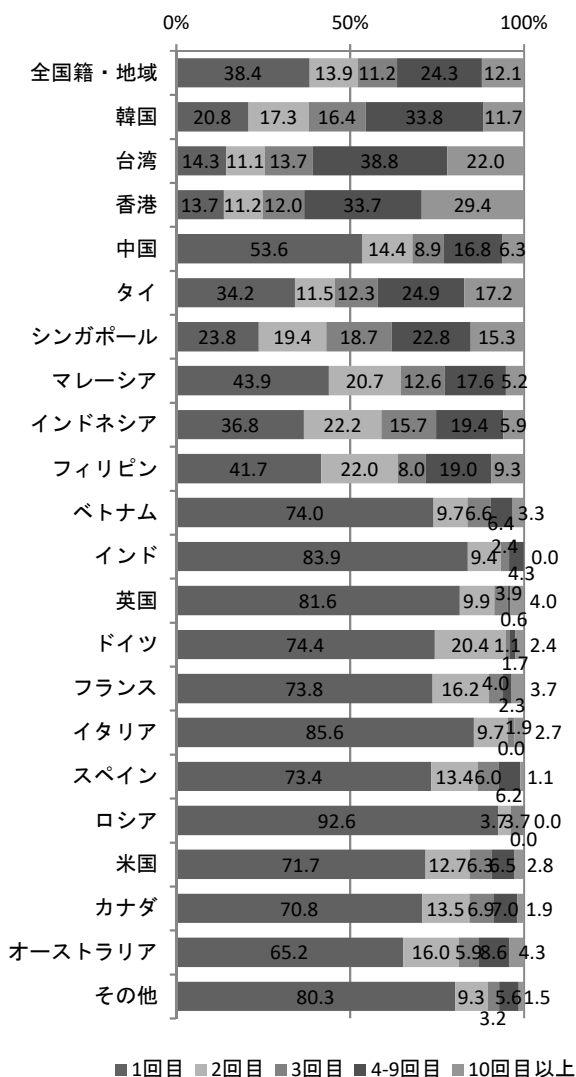


図表 1-13 滞在日数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

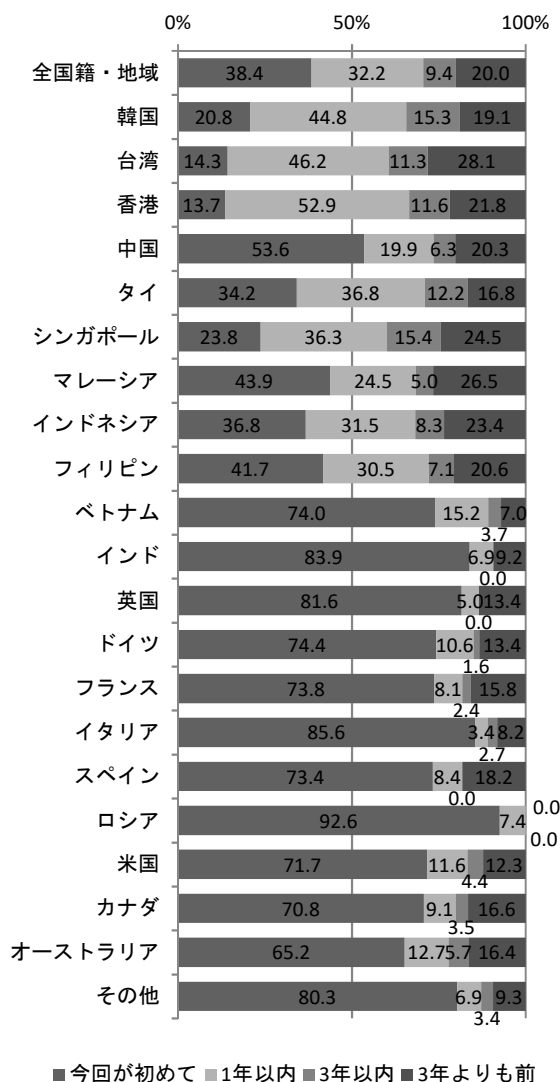


- 日本への来訪回数では、「1回目」が38.4%と最も多い（図表 1-14）。
- 国籍・地域別では、「1回目」の割合がインド、英国、イタリア、ロシアで8割超と他の国籍・地域に比べ高い。一方、台湾、香港では「10回目以上」の割合が2割超と他の国籍・地域に比べ高い。
- 前回の日本への来訪時期では、「今回が初めて」を除くと、「1年以内」が32.2%と最も多い（図表 1-15）。
- 国籍・地域別では、「1年以内」の割合が韓国、台湾で4割超、香港で5割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-14 来訪回数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

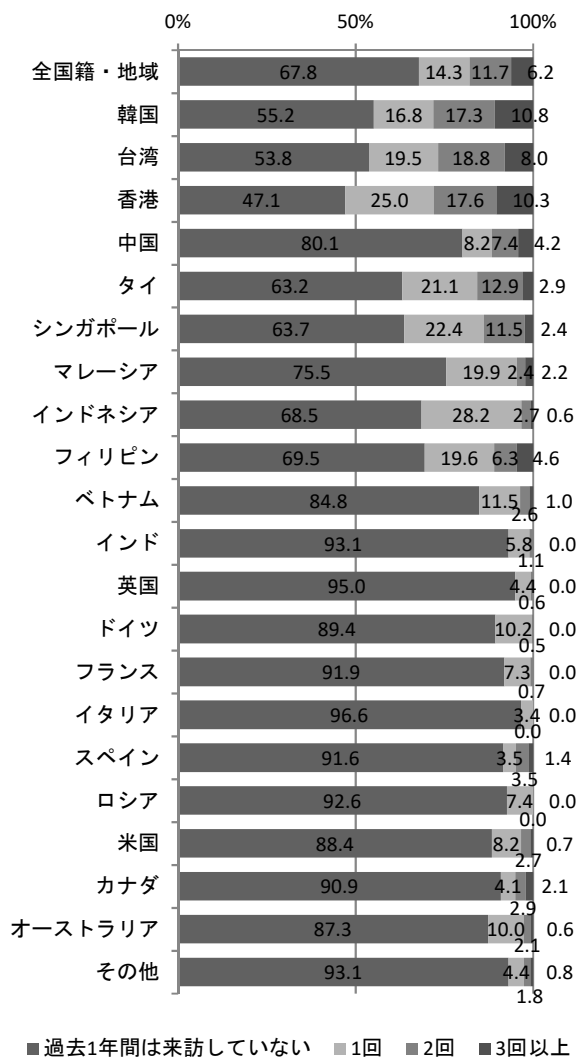


図表 1-15 前回の日本への来訪時期
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

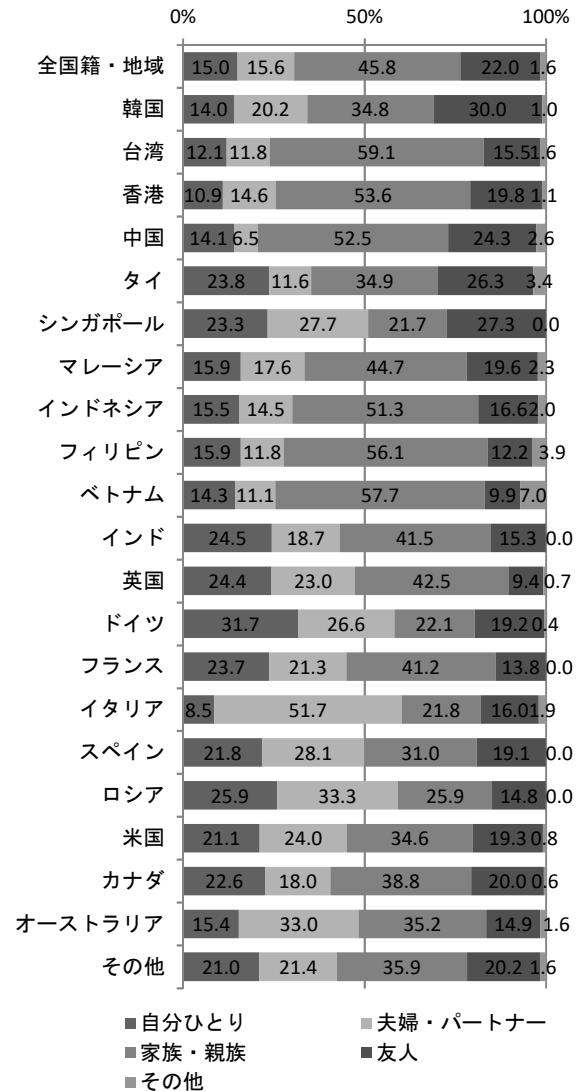


- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「過去1年間は来訪していない」（0回）が67.8%を占める（図表1-16）。
- 国籍・地域別にみると、過去1年間に2回以上日本を訪れている割合は、韓国、台湾、香港で約3割と、他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は「家族・親族」（45.8%）、「友人」（22.0%）、「夫婦・パートナー」（15.6%）、「自分ひとり」（15.0%）の順となっている（図表1-17）。
- 国籍・地域別では、台湾、香港、中国、インドネシア、フィリピン、ベトナムで「家族・親族」の割合が5割超と、他の国籍・地域に比べて高い。ドイツは「自分ひとり」が約3割、イタリアは「夫婦・パートナー」の割合が約5割と高い。

図表 1-16 過去1年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）

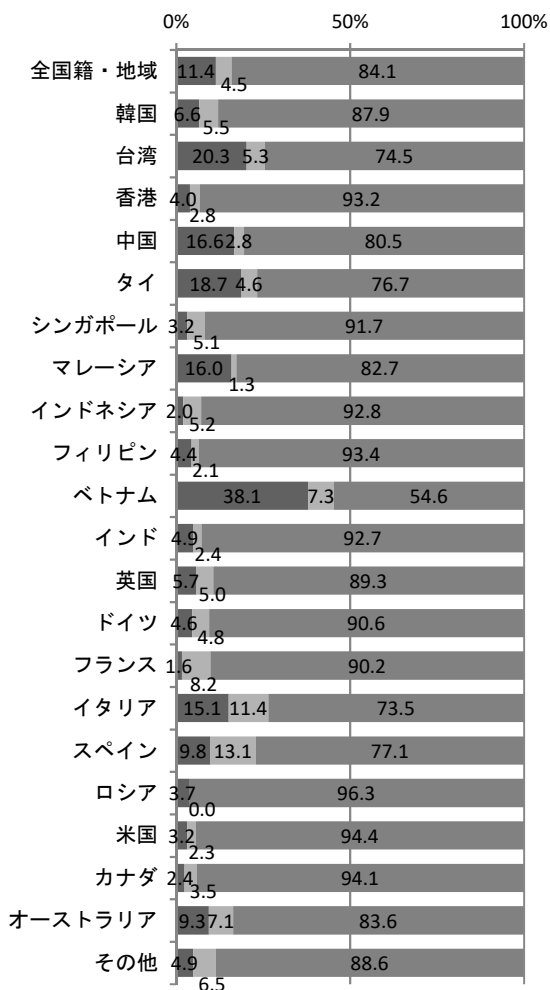


図表 1-17 同行者
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



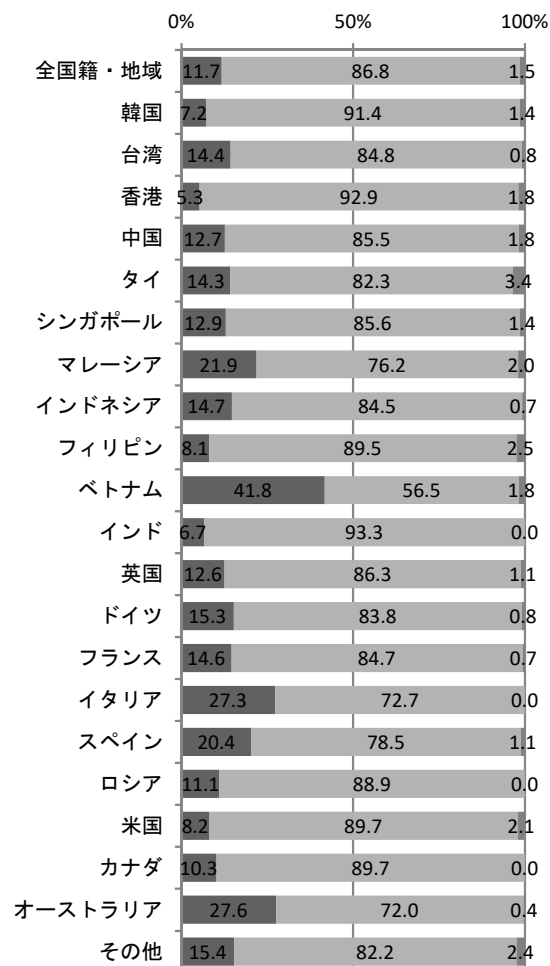
- 旅行手配方法では「団体ツアー参加」が11.4%、「個人旅行パッケージ利用」が4.5%、「個別手配」が84.1%を占める（図表 1-18）。
- 国籍・地域別では、「団体ツアー参加」の割合がベトナムで約4割、台湾、中国、タイ、マレーシア、イタリアで約2割と他の国籍・地域に比べて高い。
- ツアー商品や往復航空（船舶）券の申込方法では、「店頭」の割合が11.7%、「ウェブサイト」の割合が86.8%を占める（図表 1-19）。
- 国籍・地域別では「店頭」の割合が、ベトナムで約4割、イタリア、オーストラリアで約3割と、他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-18 旅行手配方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



■ 団体ツアー参加 ■ 個人旅行パッケージ利用 ■ 個別手配

図表 1-19 申込方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



■ 店頭 ■ ウェブサイト ■ 電話等その他

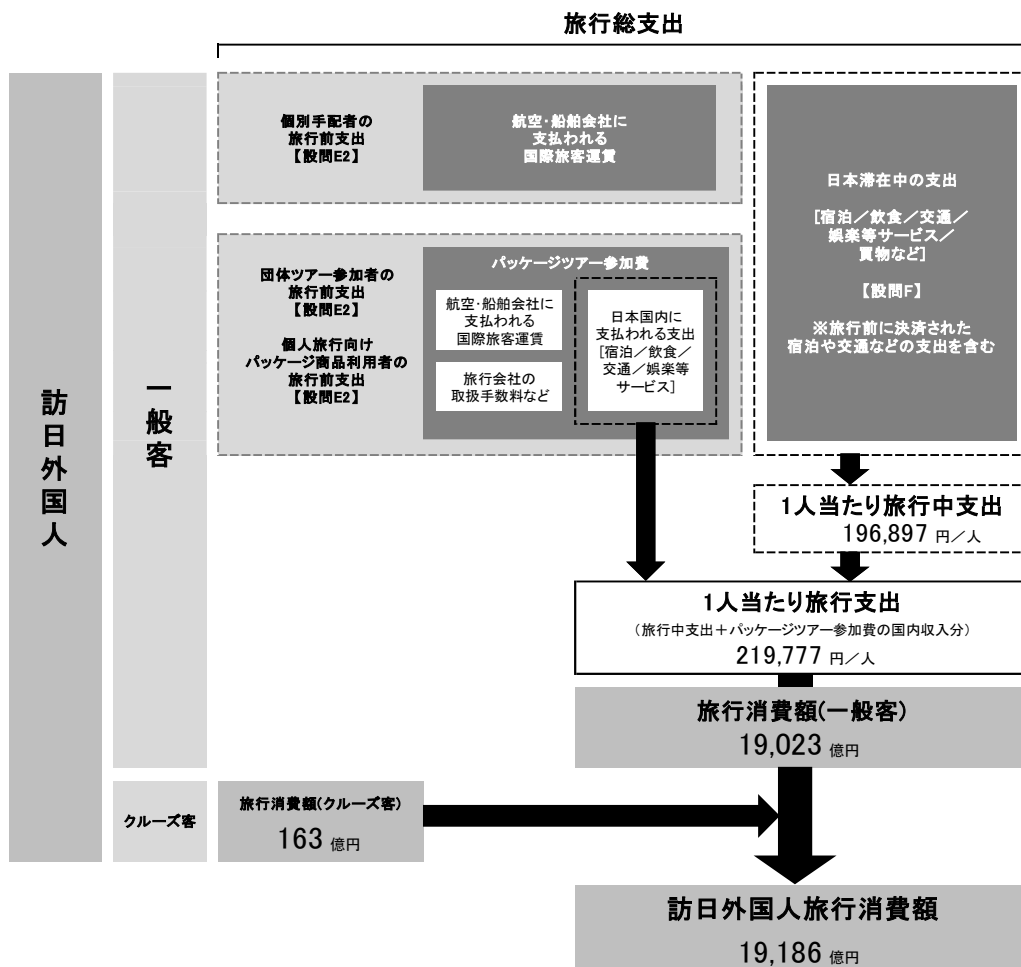
2. 訪日外国人の旅行支出

(1) 旅行支出の構造

- 本調査では、船舶観光上陸許可を得た訪日外国人をクルーズ客、これ以外の訪日外国人を一般客とする（図表 2-1）。
- 旅行前支出は旅行手配方法別に捉え方が異なる。団体ツアー参加者^{注1}及び個人旅行パッケージ利用者^{注2}についてはパッケージツアー参加費を旅行前支出として尋ねている。一方、個別手配者^{注3}については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃を旅行前支出として尋ねている。
- 旅行中支出とは、日本滞在中の支出であり、宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代など日本滞在中に支払ったすべての支出金額を尋ねている。

注1) 旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した人
 注2) 往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した人
 注3) 往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配した人

図表 2-1 インバウンド消費動向調査における旅行支出の構造 概念図



- **パッケージツアー参加費**には、日本国内に支払われる支出（宿泊／飲食／交通／娯楽等サービス）や航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃などが含まれる。本調査では、このうち日本国内に支払われる支出（以下、国内収入分）を旅行中支出に加算することにより、一般客の旅行消費額（総額）を推計する。ただし、クルーズ客ではパッケージツアー参加費の国内収入分の加算は行わない。

(2) 旅行前支出

- 一般客における**団体ツアー**の購入者単価は1人当たり平均243,118円、**個人旅行パッケージ**の購入者単価は1人当たり平均286,788円であった（図表2-2）。

- **個別手配者**の国際旅客運賃（出発国から日本までの往復運賃）の購入者単価は一般客1人当たり平均104,106円であった。

(3) 旅行中支出

- 一般客が日本滞在中に支出した**旅行中支出**は1人当たり平均196,897円であった。旅行手配方法別では、**団体ツアー参加者**では1人当たり平均79,630円、**個人旅行パッケージ利用者**では1人当たり平均109,276円、**個別手配者**では1人当たり平均215,638円であった（図表2-3）。
- 旅行前支出と旅行中支出を合算した**旅行総支出**は、一般客1人当たり平均323,195円であった（図表2-4）。

図表 2-2 一般客1人当たり旅行前支出（旅行手配方法別）

【団体ツアー参加者】			【個人旅行パッケージ利用者】			【個別手配者】		
国籍・地域	(%)	(円/人)	国籍・地域	(%)	(円/人)	国籍・地域	(%)	(円/人)
国籍・地域	団体ツアー参加率	団体ツアー購入者単価	国籍・地域	個人旅行パッケージ利用率	個人旅行パッケージ購入者単価	国籍・地域	個別手配比率	国際旅客運賃購入者単価
全国籍・地域	10.6%	243,118	全国籍・地域	4.1%	286,788	全国籍・地域	85.3%	104,106
韓国	6.6%	158,934	韓国	5.1%	110,878	韓国	88.4%	43,311
台湾	19.5%	185,111	台湾	4.9%	143,757	台湾	75.5%	75,169
香港	4.0%	334,855	香港	2.8%	474,848	香港	93.2%	73,968
中国	15.6%	203,004	中国	2.6%	208,030	中国	81.7%	83,421
タイ	16.6%	157,289	タイ	4.0%	148,657	タイ	79.4%	91,917
シンガポール	2.7%	453,019	シンガポール	4.3%	384,235	シンガポール	93.0%	101,845
マレーシア	12.4%	308,230	マレーシア	2.2%	222,618	マレーシア	85.4%	91,446
インドネシア	3.0%	553,728	インドネシア	4.1%	181,458	インドネシア	92.9%	95,978
フィリピン	6.1%	232,349	フィリピン	2.7%	198,514	フィリピン	91.2%	68,667
ベトナム	27.4%	172,942	ベトナム	3.9%	222,301	ベトナム	68.7%	84,349
インド	4.1%	171,888	インド	1.7%	287,214	インド	94.2%	143,957
英国	4.5%	912,053	英国	4.5%	641,177	英国	91.0%	256,156
ドイツ	4.2%	687,529	ドイツ	4.1%	698,884	ドイツ	91.7%	218,504
フランス	1.3%	987,731	フランス	7.4%	797,310	フランス	91.3%	238,268
イタリア	13.5%	616,674	イタリア	13.0%	949,564	イタリア	73.5%	244,157
スペイン	11.1%	794,701	スペイン	13.8%	540,046	スペイン	75.1%	220,741
ロシア	6.5%	500,209	ロシア	3.2%	891,590	ロシア	90.3%	139,044
米国	3.3%	767,628	米国	2.2%	639,262	米国	94.4%	233,381
カナダ	2.3%	1,078,792	カナダ	2.9%	579,898	カナダ	94.8%	201,358
オーストラリア	7.7%	801,707	オーストラリア	6.0%	450,916	オーストラリア	86.4%	161,661
その他	4.1%	522,458	その他	5.0%	563,906	その他	90.9%	225,798

図表 2-3 一般客 1 人当たり旅行中支出（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)				b.平均泊数	(円/人泊)			
	a.旅行中支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者		c.1泊当たり旅行中支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	196,897	79,630	109,276	215,638	9.4	21,013	13,731	14,545	21,778
韓国	103,522	36,280	50,935	111,547	4.1	25,463	11,585	17,196	26,569
台湾	158,278	68,330	83,767	186,384	6.6	23,906	16,547	16,381	25,315
香港	222,229	76,983	119,865	231,528	7.4	29,873	14,261	21,186	30,544
中国	233,182	108,231	158,272	259,497	8.5	27,441	18,262	20,753	28,777
タイ	167,738	60,176	223,647	187,421	12.7	13,174	15,903	9,618	13,316
シンガポール	252,392	36,467	94,312	265,983	10.7	23,542	4,376	12,229	24,336
マレーシア	177,722	28,564	104,480	201,281	14.0	12,721	4,570	14,565	13,184
インドネシア	205,808	45,264	62,934	217,267	28.3	7,265	7,269	3,089	7,391
フィリピン	154,358	71,388	47,509	163,127	14.3	10,804	9,475	6,912	10,903
ベトナム	164,276	47,630	111,951	213,750	30.7	5,346	7,418	20,315	5,106
インド	225,520	111,658	58,760	233,471	18.1	12,486	5,894	6,226	12,842
英国	291,960	128,186	125,940	308,247	16.3	17,889	8,185	12,863	18,488
ドイツ	295,363	219,222	171,105	304,423	18.5	15,956	11,647	12,669	16,261
フランス	295,310	86,810	154,844	309,705	16.2	18,213	6,672	11,103	18,834
イタリア	276,022	90,100	161,201	330,593	12.2	22,712	8,228	11,880	27,266
スペイン	288,189	102,723	138,515	343,206	12.8	22,512	7,961	12,044	26,349
ロシア	306,110	222,714	71,266	320,454	25.3	12,119	4,499	810	15,055
米国	279,135	168,043	154,885	286,007	12.7	22,041	11,659	10,730	22,771
カナダ	242,876	174,013	148,469	247,427	12.4	19,512	10,251	13,320	19,989
オーストラリア	270,299	58,202	140,551	298,088	14.2	19,009	3,682	11,645	20,952
その他	312,436	78,723	216,137	328,279	19.0	16,479	5,696	15,024	16,885

図表 2-4 一般客 1 人当たり旅行総支出（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)				b.平均泊数	(円/人泊)			
	a.旅行総支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者		c.1泊当たり旅行総支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	323,195	322,748	396,064	319,744	9.4	34,492	55,652	52,717	32,292
韓国	157,869	195,214	161,813	154,858	4.1	38,831	62,334	54,630	36,886
台湾	258,288	253,441	227,524	261,554	6.6	39,012	61,373	44,495	35,524
香港	317,844	411,839	594,713	305,496	7.4	42,725	76,291	105,113	40,302
中国	338,577	311,235	366,302	342,917	8.5	39,843	52,515	48,031	38,028
タイ	272,783	217,465	372,304	279,337	12.7	21,424	57,469	16,011	19,847
シンガポール	375,878	489,486	478,547	367,828	10.7	35,060	58,738	62,053	33,655
マレーシア	298,949	336,794	327,098	292,726	14.0	21,399	53,886	45,599	19,174
インドネシア	319,058	598,993	244,392	313,244	28.3	11,262	96,187	11,996	10,657
フィリピン	236,571	303,736	246,023	231,794	14.3	16,559	40,312	35,794	15,493
ベトナム	278,311	220,571	334,251	298,099	30.7	9,056	34,353	60,655	7,121
インド	373,059	283,547	345,974	377,428	18.1	20,654	14,968	36,660	20,760
英国	595,019	1,040,238	767,118	564,402	16.3	36,458	66,425	78,350	33,852
ドイツ	553,327	906,751	869,989	522,926	18.5	29,892	48,174	64,417	27,933
フランス	584,809	1,074,541	952,155	547,974	16.2	36,068	82,582	68,275	33,323
イタリア	662,217	706,774	1,110,765	574,750	12.2	54,489	64,544	81,862	47,403
スペイン	616,918	897,424	678,561	563,947	12.8	48,191	69,551	59,000	43,296
ロシア	492,731	722,923	962,856	459,498	25.3	19,508	14,605	10,942	21,587
米国	539,413	935,672	794,147	519,388	12.7	42,594	64,917	55,017	41,351
カナダ	475,338	1,252,805	728,367	448,785	12.4	38,187	73,803	65,347	36,257
オーストラリア	498,301	859,909	591,467	459,749	14.2	35,043	54,396	49,003	32,315
その他	567,245	601,181	780,043	554,077	19.0	29,918	43,500	54,220	28,498

(4) 旅行支出の推計

- 一般客の旅行支出及び旅行消費額は、訪日外国人が日本国内で支払った旅行中支出に、パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費などの国内収入分（以下、パッケージ内訳）を加算することにより推計する。
- 今期のパッケージ内訳は1人当たり平均22,881円と推計される（図表2-5）。
- 旅行中支出にパッケージ内訳を加えた今期の旅行支出は1人当たり平均219,777円と推計され、今期の一般客の旅行消費額は1兆9,023億円と推計される。
- これにクルーズ客の旅行消費額163億円を加算し、2024年7-9月期の訪日外国人旅行消費額は1兆9,186億円と推計される。

図表 2-5 訪日外国人1人当たり旅行支出と訪日外国人旅行消費額の推移

	一般客					クルーズ客			訪日外国人旅行消費額 (=e+h)					
	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.	h.						
	日本国内での旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)	パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分 (パッケージ内訳)	旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)	一般客数	旅行消費額 (=c×d)	旅行中支出	クルーズ客数	旅行消費額 (=f×g)						
	注1		注2		注3									
	2019年比	2019年比	2019年比					2019年比						
2019年	137,948	-	20,583	-	158,531	-	29,855,742	47,331	39,710	2,026,307	805	48,135	-	
2023年注4	193,120	+40.0%	19,644	-4.6%	212,764	+34.2%	24,899,890	52,978	52,437	166,460	87	53,065	+10.2%	
2024年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
四半期	2019年1-3月期	130,034	-	17,379	-	147,413	-	7,693,723	11,342	48,631	360,074	175	11,517	-
	2019年4-6月期	134,203	-	20,764	-	154,967	-	8,050,409	12,475	37,244	529,408	197	12,673	-
	2019年7-9月期	140,952	-	21,907	-	162,860	-	7,093,271	11,552	38,473	690,935	266	11,818	-
	2019年10-12月期	147,883	-	22,551	-	170,434	-	7,018,339	11,962	37,352	445,890	167	12,128	-
	2023年1-3月期	195,383	+50.3%	15,657	-9.9%	211,040	+43.2%	4,787,169	10,103	-	3,374	-	10,103	-12.3%
	2023年4-6月期	188,233	+40.3%	20,432	-1.6%	208,665	+34.7%	5,903,493	12,319	-	18,360	-	12,319	-2.8%
	2023年7-9月期	191,123	+35.6%	18,105	-17.4%	209,228	+28.5%	6,578,491	13,764	44,253	83,835	37	13,801	+16.8%
	2023年10-12月期	197,203	+33.4%	22,863	+1.4%	220,066	+29.1%	7,630,737	16,793	63,237	60,891	39	16,831	+38.8%
	2024年1-3月期	193,307	+48.7%	17,782	+2.3%	211,089	+43.2%	8,354,418	17,635	31,947	204,065	65	17,700	+53.7%
	2024年4-6月期	210,284	+56.7%	28,744	+38.4%	239,028	+54.2%	8,889,414	21,248	45,871	334,525	153	21,402	+68.9%
2024年7-9月期	196,897	+39.7%	22,881	+4.4%	219,777	+34.9%	8,655,602	19,023	36,706	442,868	163	19,186	+62.3%	

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者(参加費0円)も含めた全体平均の値である。
 注2) 訪日外客数(日本政府観光局、暫定値)からクルーズ客数を控除した値。
 注3) 船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の人数(法務省「出入国管理統計」)
 注4) 新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年のクルーズ調査は7-9月期および10-12月期のみ実施した。そのため、2023年1-3月期、4-6月期については、2023年7-9月期と10-12月期の1人当たり旅行支出の平均値を用い、1人当たり旅行支出に各期のクルーズ客数を乗じて消費額を算出し、四半期の消費額を積み上げ、年間のクルーズ客の旅行消費額を算出した。よって、年間値は参考値である。

【一般客の旅行消費額の推計方法（パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分の加算）】

一般客のパッケージツアー参加費には、「出発国から日本までの往復運賃」に加え、日本に支払われる「宿泊費」「飲食費」「交通費」「娯楽等サービス費」が含まれているものと仮定する。これらの費目のうち、「出発国から日本までの往復運賃」を除く費目の支出を、日本国内に支払われる支出（国内収入分）とみなす。

一般客の旅行消費額は、「旅行中支出」に「パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分」の金額を加算することにより推計する。パッケージツアー参加費の内訳は、観光・レジャー目的の個人手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて配分した。なお、この配分は国籍・地域毎（20市場と「その他の国籍・地域」の21区分）に行っている。

なお、本報告書で推計している訪日外国人旅行消費額には、日本の航空会社及び船舶会社に支払われる国際旅客運賃（往復運賃）が含まれない点に留意されたい。

- 一般客の旅行消費額を国籍・地域別にみると、①中国4,877億円(構成比25.6%)、②台湾2,696億円(同14.2%)、③韓国2,309億円(同12.1%)、④米国1,848億円(同9.7%)⑤香港1,663億円(同8.7%)の順となっている(図表2-6)。
- 前述の上位5ヶ国・地域合計で1兆3,391億円(構成比70.4%)を占める。エリア別では、東アジア4ヶ国・地域(韓国、台湾、香港、中国)合計で1兆1,544億円(同60.7%)、東南アジア6ヶ国(タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム)合計で1,365億円(同7.2%)、欧州5ヶ国(英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン)合計で1,462億円(同7.7%)となっている

図表2-6 一般客1人当たり旅行支出と旅行消費額(国籍・地域別)

2024年7-9月期 国籍・地域	a. 日本国内での 旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない) (円/人)		b. パッケージ ツアー参加費 に含まれる 国内収入分 (パッケージ内訳) 注1 (円/人)	c. 旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b) (円/人)		d. 一般客数 (クルーズ客を除く) (人)		e. 旅行消費額 (クルーズ客を除く) (=c×d) (億円)		
	2019年比			2019年比		注2 2019年比		構成比	2019年比	
全国籍・地域	196,897	+39.7%	22,881	219,777	+34.9%	8,655,602	+22.0%	19,023	100.0%	+64.7%
韓国	103,522	+27.7%	10,674	114,196	+31.2%	2,021,564	+88.7%	2,309	12.1%	+147.7%
台湾	158,278	+73.3%	25,963	184,241	+61.1%	1,463,080	+25.5%	2,696	14.2%	+102.2%
香港	222,229	+61.1%	17,882	240,110	+56.4%	692,404	+26.9%	1,663	8.7%	+98.4%
中国	233,182	+36.3%	24,474	257,656	+26.6%	1,892,828	-17.9%	4,877	25.6%	+3.9%
タイ	167,738	+21.7%	19,716	187,454	+25.1%	133,439	-27.6%	250	1.3%	-9.4%
シンガポール	252,392	+71.5%	18,969	271,361	+77.1%	89,890	+28.3%	244	1.3%	+127.2%
マレーシア	177,722	+45.7%	26,641	204,362	+53.6%	75,481	+6.5%	154	0.8%	+63.6%
インドネシア	205,808	+71.2%	14,884	220,692	+62.7%	86,376	+31.4%	191	1.0%	+113.7%
フィリピン	154,358	+75.3%	12,862	167,220	+74.5%	139,724	+31.8%	234	1.2%	+130.0%
ベトナム	164,276	+3.0%	33,607	197,883	+9.3%	147,636	+20.4%	292	1.5%	+31.6%
インド	225,520	+54.6%	7,079	232,599	+56.8%	48,841	+16.9%	114	0.6%	+83.3%
英国	291,960	+81.6%	37,440	329,400	+85.5%	99,461	-3.3%	328	1.7%	+79.4%
ドイツ	295,363	+67.8%	33,376	328,739	+73.1%	83,766	+43.6%	275	1.4%	+148.6%
フランス	295,310	+25.8%	38,608	333,918	+30.8%	99,433	+8.2%	332	1.7%	+41.6%
イタリア	276,022	+79.9%	116,617	392,639	+87.9%	72,517	+46.3%	285	1.5%	+175.0%
スペイン	288,189	+51.0%	92,297	380,486	+71.7%	63,589	+34.8%	242	1.3%	+131.6%
ロシア	306,110	+73.1%	35,991	342,101	+81.8%	22,130	-19.2%	76	0.4%	+46.9%
米国	279,135	+52.7%	21,085	300,220	+51.1%	615,472	+54.9%	1,848	9.7%	+134.0%
カナダ	242,876	+62.2%	22,101	264,978	+55.0%	144,632	+72.6%	383	2.0%	+167.4%
オーストラリア	270,299	+55.0%	55,889	326,188	+49.3%	174,930	+45.9%	571	3.0%	+117.8%
その他	312,436	+55.1%	27,860	340,296	+51.7%	488,409	+33.3%	1,662	8.7%	+102.3%

注1)パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者(参加費0円)も含めた全体平均の値である。
注2)訪日外客数(日本政府観光局、暫定値)からクルーズ客数を控除した値。

(5) 費目別にみる旅行支出

- 一般客の費目別旅行支出（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」「飲食費」「交通費」はイタリア（それぞれ16.5万円、9.4万円、8.3万円）が、「娯楽等サービス費」はロシア（同3.5万円）が「買物代」は中国（同9.5万円）が最も高い（図表2-7）。

- 一般客の費目別旅行消費額（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」「飲食費」「交通費」「娯楽等サービス費」「買物代」の全ての費目において、中国（それぞれ1,493億円、944億円、426億円、209億円、1,806億円）が最も高くなっている。（図表2-8）。

図表2-7 費目別にみる一般客1人当たり旅行支出（国籍・地域別）

(円/人)

国籍・地域	【費目別旅行支出】						
	旅行支出 総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	219,777	75,074	48,500	24,115	10,389	61,667	32
韓国	114,196	36,477	32,725	10,458	5,805	28,683	48
台湾	184,241	53,981	36,448	18,117	6,370	69,279	45
香港	240,110	75,536	52,363	23,551	13,890	74,673	97
中国	257,656	78,858	49,875	22,484	11,025	95,415	0
タイ	187,454	60,088	44,336	19,889	6,508	56,632	0
シンガポール	271,361	97,118	74,930	26,402	15,589	57,218	104
マレーシア	204,362	64,993	44,328	24,008	20,282	50,656	95
インドネシア	220,692	76,563	53,430	26,323	18,047	46,328	0
フィリピン	167,220	54,012	35,405	14,101	9,929	53,773	0
ベトナム	197,883	56,671	44,684	21,781	8,612	66,129	6
インド	232,599	97,870	52,084	27,322	6,407	48,856	60
英国	329,400	133,610	79,969	49,822	17,250	48,679	70
ドイツ	328,739	143,390	75,862	50,114	12,130	47,244	0
フランス	333,918	132,779	72,741	53,558	15,273	59,468	99
イタリア	392,639	164,996	93,636	83,164	16,428	34,416	0
スペイン	380,486	148,634	82,493	77,691	16,559	55,109	0
ロシア	342,101	121,931	67,671	45,622	34,719	72,158	0
米国	300,220	122,656	64,135	39,278	16,014	58,125	12
カナダ	264,978	109,497	61,338	34,605	11,177	48,353	7
オーストラリア	326,188	132,641	74,275	49,591	19,129	50,551	0
その他	340,296	142,136	78,914	45,595	16,320	57,331	0

- 旅行消費額の費目別構成比をみると、インド、英国、ドイツ、イタリア、米国、カナダ、オーストラリアでは「宿泊費」の割合が4割超と高い傾向がみられる。

また、台湾、中国では「買物代」の割合が約4割であり、他の国籍・地域と比べて高い。

図表2-8 費目別にみる一般客の旅行消費額（国籍・地域別）

(億円)

(%)

国籍・地域	【費目別旅行消費額】							【費目別旅行消費額 構成比】(ヨコ計100%)					
	消費額 総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	19,023	6,498	4,198	2,087	899	5,338	3	34.2%	22.1%	11.0%	4.7%	28.1%	0.0%
韓国	2,309	737	662	211	117	580	1	31.9%	28.7%	9.2%	5.1%	25.1%	0.0%
台湾	2,696	790	533	265	93	1,014	1	29.3%	19.8%	9.8%	3.5%	37.6%	0.0%
香港	1,663	523	363	163	96	517	1	31.5%	21.8%	9.8%	5.8%	31.1%	0.0%
中国	4,877	1,493	944	426	209	1,806	0	30.6%	19.4%	8.7%	4.3%	37.0%	0.0%
タイ	250	80	59	27	9	76	0	32.1%	23.7%	10.6%	3.5%	30.2%	0.0%
シンガポール	244	87	67	24	14	51	0	35.8%	27.6%	9.7%	5.7%	21.1%	0.0%
マレーシア	154	49	33	18	15	38	0	31.8%	21.7%	11.7%	9.9%	24.8%	0.0%
インドネシア	191	66	46	23	16	40	0	34.7%	24.2%	11.9%	8.2%	21.0%	0.0%
フィリピン	234	75	49	20	14	75	0	32.3%	21.2%	8.4%	5.9%	32.2%	0.0%
ベトナム	292	84	66	32	13	98	0	28.6%	22.6%	11.0%	4.4%	33.4%	0.0%
インド	114	48	25	13	3	24	0	42.1%	22.4%	11.7%	2.8%	21.0%	0.0%
英国	328	133	80	50	17	48	0	40.6%	24.3%	15.1%	5.2%	14.8%	0.0%
ドイツ	275	120	64	42	10	40	0	43.6%	23.1%	15.2%	3.7%	14.4%	0.0%
フランス	332	132	72	53	15	59	0	39.8%	21.8%	16.0%	4.6%	17.8%	0.0%
イタリア	285	120	68	60	12	25	0	42.0%	23.8%	21.2%	4.2%	8.8%	0.0%
スペイン	242	95	52	49	11	35	0	39.1%	21.7%	20.4%	4.4%	14.5%	0.0%
ロシア	76	27	15	10	8	16	0	35.6%	19.8%	13.3%	10.1%	21.1%	0.0%
米国	1,848	755	395	242	99	358	0	40.9%	21.4%	13.1%	5.3%	19.4%	0.0%
カナダ	383	158	89	50	16	70	0	41.3%	23.1%	13.1%	4.2%	18.2%	0.0%
オーストラリア	571	232	130	87	33	88	0	40.7%	22.8%	15.2%	5.9%	15.5%	0.0%
その他	1,662	694	385	223	80	280	0	41.8%	23.2%	13.4%	4.8%	16.8%	0.0%

(6) 来訪目的別にみる旅行支出

- 来訪目的別に一般客の旅行支出（パッケージ内訳を含む）をみると、「観光・レジャー」は1人当たり平均215,712円、「業務」は同227,631円、「その他」は同252,190円となっている（図表2-9）。

図表2-9 来訪目的別にみる一般客1人当たり旅行支出（主要国籍・地域別）

主な来訪目的		観光・レジャー 注2	業務 注1	その他 注2	MICE関連 注3 (再掲)
旅行支出 (円/人)	全国籍・地域	215,712	227,631	252,190	177,825
	韓国	107,142	157,809	134,443	115,156
	台湾	175,777	158,589	539,567	199,365
	香港	231,247	339,898	407,143	219,232
	中国	255,970	268,871	268,731	196,935
	米国	317,008	267,153	251,792	225,279

【参考】

一般客目的別 構成比 (%) ヨコ計=100	全国籍・地域	83.4	8.2	8.5	4.5
	韓国	83.0	10.3	6.7	7.0
	台湾	93.9	3.6	2.5	1.5
	香港	94.0	2.4	3.6	2.0
	中国	86.9	5.8	7.4	2.6
	米国	71.7	11.0	17.4	4.6

回答数注4 (人)	全国籍・地域	6,526	932	975	498
	韓国	734	109	57	70
	台湾	707	26	18	11
	香港	680	17	26	14
	中国	959	63	83	26
	米国	894	142	218	61

注1)「業務」は、主な来訪目的が「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」「その他ビジネス」の回答の集計結果である。
 注2)「その他」は、主な来訪目的が「親族・知人訪問」「ハネムーン」「学校関連の旅行」「スポーツ・スポーツ観戦」「イベント」「留学」「治療・検診」「インセンティブツアー」「トランジット」「その他」の回答の集計結果である。
 注3)「MICE関連」は、主な来訪目的が「イベント」「インセンティブツアー」「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」の回答の集計結果である。
 注4) 回答数の少ない数値については取り扱いに留意されたい。

(7) クルーズ客の旅行中支出

- クルーズ客の旅行中支出は1人当たり平均36,706円であった（図表2-10）。
- 費目別にみると、「買物代」が1人当たり平均32,921円、「飲食費」が同2,460円などとなっている（図表2-11）。
- クルーズ客の旅行消費額は163億円と推計される。費目別では、「買物代」が146億円、「飲食費」が11億円などとなっている（図表2-12）。

図表2-10 クルーズ客1人当たり旅行中支出と旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	a. 旅行中支出 (円/人)	b. クルーズ客数 (人)		c. 旅行消費額 (=a×b) (億円)
		注1	2019年比	
全国籍・地域	36,706	442,868	-35.9%	163
台湾	22,834	143,613	+59.8%	33
中国	43,265	282,107	-50.1%	122
その他注2	4,798	160,761	+27.8%	8

注1) 船舶観光上陸許可を受けて日本に特例上陸した外国人の人数(法務省「出入国管理統計」)
 注2) 国籍・地域毎で標本サイズが不十分な場合は「その他」国籍に統合している。

図表2-11 クルーズ客1人当たり費目別旅行中支出（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行中支出】 (円/人)						
	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	36,706	0	2,460	1,095	230	32,921	0
台湾	22,834	0	2,920	1,813	390	17,710	0
中国	43,265	0	2,186	725	151	40,204	0
その他	4,798	0	332	126	21	4,319	0

図表2-12 クルーズ客費目別旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行消費額】 (億円)						
	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	163	0	11	5	1	146	0
台湾	33	0	4	3	1	25	0
中国	122	0	6	2	0	113	0
その他	8	0	1	0	0	7	0

3. 土産品の購入実態

(1) 費目別購入率

- 費目別の購入率（その費目を購入した人の割合）は「菓子類」（70.0%）、「その他食料品・飲料・たばこ」（46.1%）、「衣類」（45.9%）の順で高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別で最も購入率が高い費目は、韓国、台湾、香港、中国で「菓子類」（それぞれ 84.2%、76.5%、72.7%、71.1%）、米国で「衣類」（57.6%）となっている。

(2) 費目別購入者単価

- 費目別の購入者単価（その費目を購入した人における当該費目の1人当たり平均支出）は、「宝石・貴金属」が10.0万円です最も高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別では、香港、中国における「宝石・貴金属」（それぞれ 24.0万円、15.7万円）、台湾における「時計・フィルムカメラ」（14.1万円）が他の国籍・地域に比べ高い。

図表 3-1 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、全目的）

費目	全国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	70.0%	9,767	84.2%	6,490	76.5%	10,790	72.7%	12,009	71.1%	11,014	51.0%	10,343
酒類	21.6%	10,353	40.2%	8,967	16.0%	7,856	12.7%	10,495	10.8%	15,791	26.5%	12,179
生鮮農産物	5.5%	9,128	2.5%	3,520	12.0%	7,434	10.1%	6,837	3.8%	8,740	4.3%	16,958
その他食料品・飲料・たばこ	46.1%	9,649	49.5%	5,283	43.4%	6,796	40.7%	10,360	39.7%	10,041	52.1%	14,983
化粧品・香水	33.6%	21,597	22.6%	7,311	35.1%	20,702	42.6%	21,420	55.7%	31,031	19.7%	16,014
医薬品	27.3%	11,932	34.5%	5,883	48.1%	12,937	33.7%	12,655	29.7%	18,251	4.8%	4,235
健康グッズ・トイレタリー	11.9%	14,878	4.9%	7,488	27.7%	13,423	16.7%	17,351	13.7%	21,657	5.3%	7,120
衣類	45.9%	26,453	28.9%	22,410	51.0%	26,017	56.1%	26,672	42.5%	33,867	57.6%	26,599
靴・かばん・革製品	25.8%	47,413	12.7%	26,039	32.0%	51,727	37.6%	44,401	31.2%	76,579	22.4%	34,865
電気製品	5.8%	36,062	1.6%	17,807	8.5%	23,435	6.5%	34,396	6.8%	52,589	6.3%	28,468
時計・フィルムカメラ	2.3%	83,190	0.7%	40,551	2.2%	140,661	1.6%	107,149	2.5%	97,813	2.4%	95,458
宝石・貴金属	1.9%	100,372	1.0%	44,733	0.1%	2,500	1.2%	157,243	2.1%	239,420	4.1%	28,430
民芸品・伝統工芸品	9.7%	12,677	4.7%	7,108	6.7%	9,335	6.5%	10,132	8.4%	17,524	20.5%	12,193
本・雑誌・ガイドブックなど	5.0%	12,525	2.0%	50,931	3.8%	4,772	5.7%	12,050	4.7%	8,667	10.7%	7,450
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	4.9%	18,864	2.8%	9,767	3.9%	16,648	5.4%	15,417	6.4%	21,846	9.1%	15,266
その他買物代	11.3%	20,743	5.3%	8,188	10.0%	22,805	13.7%	26,750	16.7%	19,046	15.5%	28,056

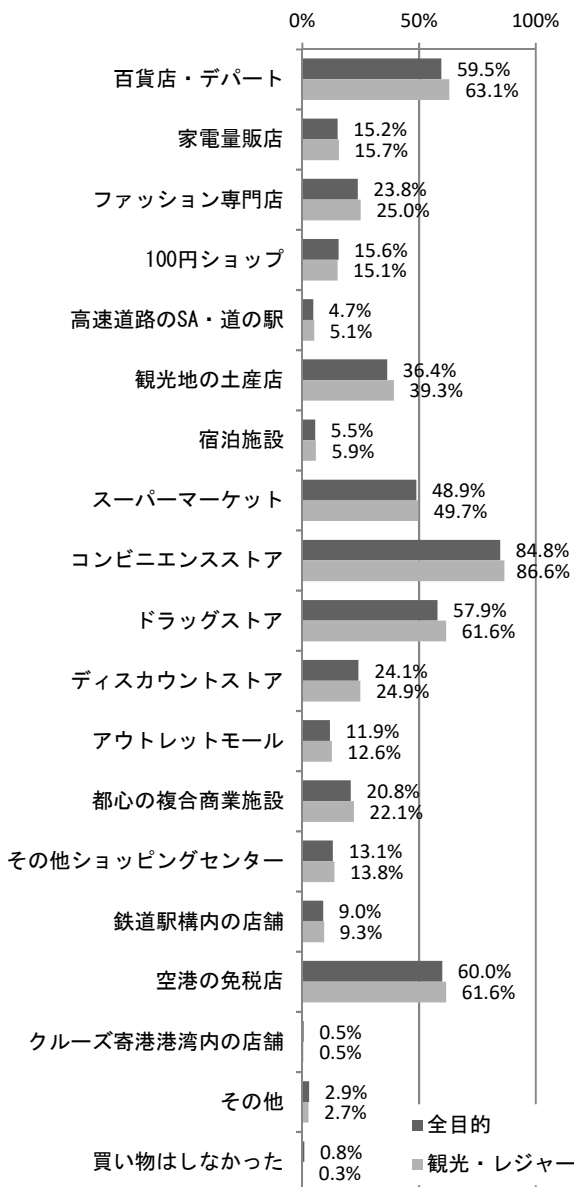
図表 3-2 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、観光・レジャー目的）

費目	全国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	71.7%	9,688	86.1%	6,358	76.2%	10,758	73.4%	12,131	71.8%	10,521	54.1%	10,571
酒類	21.5%	9,735	41.3%	7,852	15.8%	7,643	12.8%	10,318	9.9%	15,814	26.5%	12,942
生鮮農産物	5.8%	6,264	2.8%	3,487	12.1%	6,379	10.4%	6,979	3.4%	6,639	4.3%	9,124
その他食料品・飲料・たばこ	46.2%	8,380	51.2%	4,161	43.2%	6,552	40.3%	9,732	38.9%	8,685	52.5%	14,554
化粧品・香水	36.0%	21,240	25.1%	6,584	36.4%	20,390	42.9%	20,635	57.5%	30,511	20.8%	17,049
医薬品	29.8%	11,578	37.3%	5,765	49.2%	12,726	34.5%	12,285	30.6%	17,320	5.3%	4,662
健康グッズ・トイレタリー	13.3%	14,688	5.8%	7,511	29.1%	13,010	17.0%	16,868	14.3%	22,129	6.0%	7,654
衣類	48.7%	26,048	31.5%	18,600	52.1%	26,148	57.3%	25,569	45.7%	34,085	64.2%	27,449
靴・かばん・革製品	28.0%	42,973	13.9%	25,594	33.1%	25,814	38.5%	44,619	33.6%	78,358	25.5%	36,845
電気製品	6.0%	32,264	1.5%	10,818	8.4%	21,272	6.5%	34,410	7.2%	49,504	7.0%	22,724
時計・フィルムカメラ	2.3%	88,880	0.9%	40,551	2.3%	147,839	1.5%	98,684	2.7%	102,759	2.6%	115,865
宝石・貴金属	2.0%	93,749	1.2%	44,733	0.1%	2,500	1.2%	176,389	2.3%	227,427	4.3%	29,168
民芸品・伝統工芸品	10.3%	12,512	5.6%	7,240	6.8%	8,577	6.6%	10,083	9.2%	18,115	21.3%	11,671
本・雑誌・ガイドブックなど	4.8%	12,807	1.9%	62,409	3.3%	2,842	5.2%	10,300	4.6%	7,743	10.9%	7,250
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	5.1%	18,397	2.5%	10,979	3.7%	16,456	5.1%	14,042	6.6%	18,925	9.6%	15,521
その他買物代	11.8%	20,372	5.1%	8,307	10.5%	22,611	13.8%	25,163	17.2%	18,273	17.5%	29,044

(3) 買物場所

- 買物場所は「コンビニエンスストア」(84.8%)、「空港の免税店」(60.0%)、「百貨店・デパート」(59.5%)、「ドラッグストア」(57.9%)、「スーパーマーケット」(48.9%)の順で高い(図表3-3)。

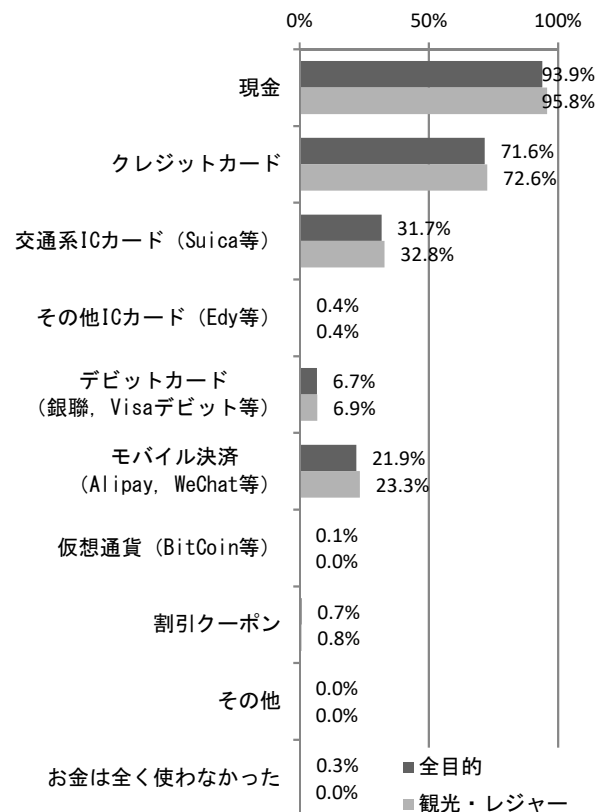
図表 3-3 買物場所
(全国籍・地域、複数回答)



(4) 利用した決済方法

- 利用した決済方法は「現金」(93.9%)が最も高く、次いで「クレジットカード」(71.6%)、「交通系ICカード」(31.7%)、「モバイル決済」(21.9%)、「デビットカード」(6.7%)の順で高くなっている(図表3-4)。

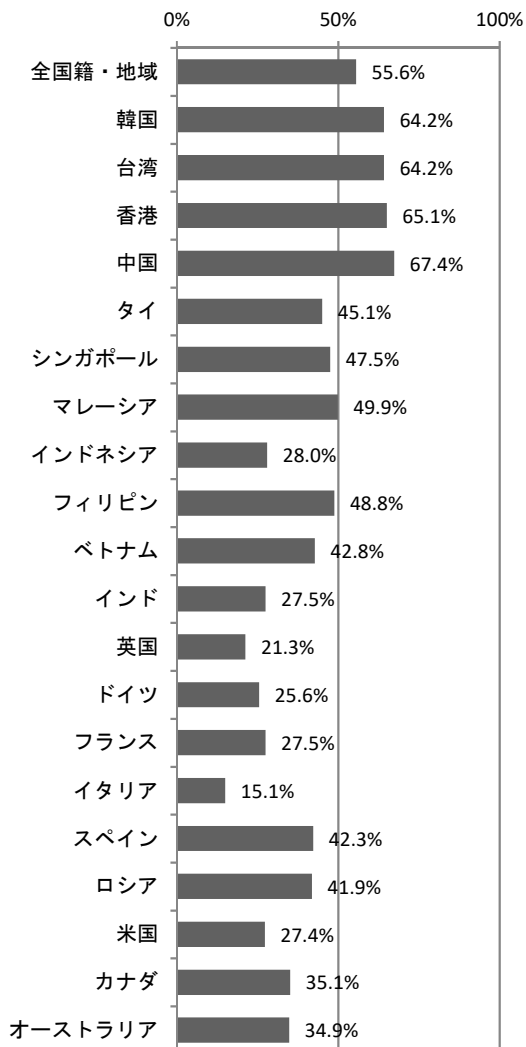
図表 3-4 利用した決済方法
(全国籍・地域、複数回答)



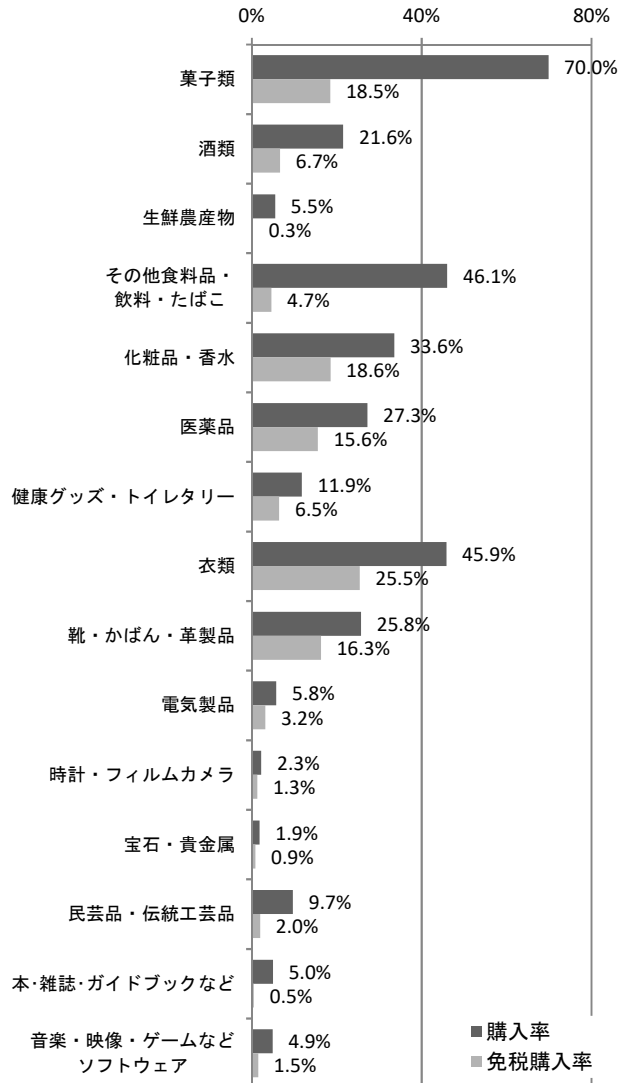
(5) 消費税免税手続きの実施状況

- 今回の日本滞在中に消費税免税手続きを実施した人の割合は全体の 55.6%である (図表 3-5)。
- 国籍・地域別にみると、インドネシア、インド、英国、ドイツ、フランス、イタリア、米国では 3 割未満と他の国籍・地域に比べて低い。
- 買物代の費目別に、消費税免税手続きをして当該費目を購入した人の割合 (費目別の免税購入率、分母は一般客全体) をみると、「衣類」(25.5%) が最も高く、「化粧品・香水」(18.6%)、「菓子類」(18.5%)、「靴・かばん・革製品」(16.3%) の順で高くなっている (図表 3-6)。

図表 3-5 消費税免税手続きの実施率 (国籍・地域別)



図表 3-6 費目別購入率と費目別の免税購入率 (全国籍・地域、複数回答)



4. 満足度と再訪意向

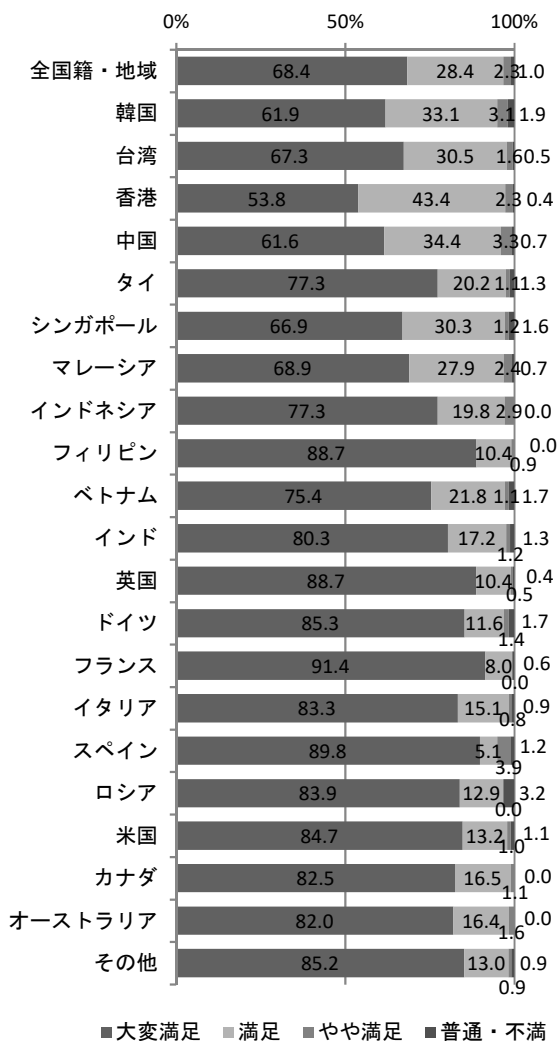
(1) 訪日旅行全体の満足度

- 今回の訪日旅行全体の満足度は「大変満足」が68.4%、「満足」が28.4%である（図表4-1）。
- 国籍・地域別では、フィリピン、インド、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、米国、カナダ、オーストラリアで「大変満足」の割合が8割超と高い。

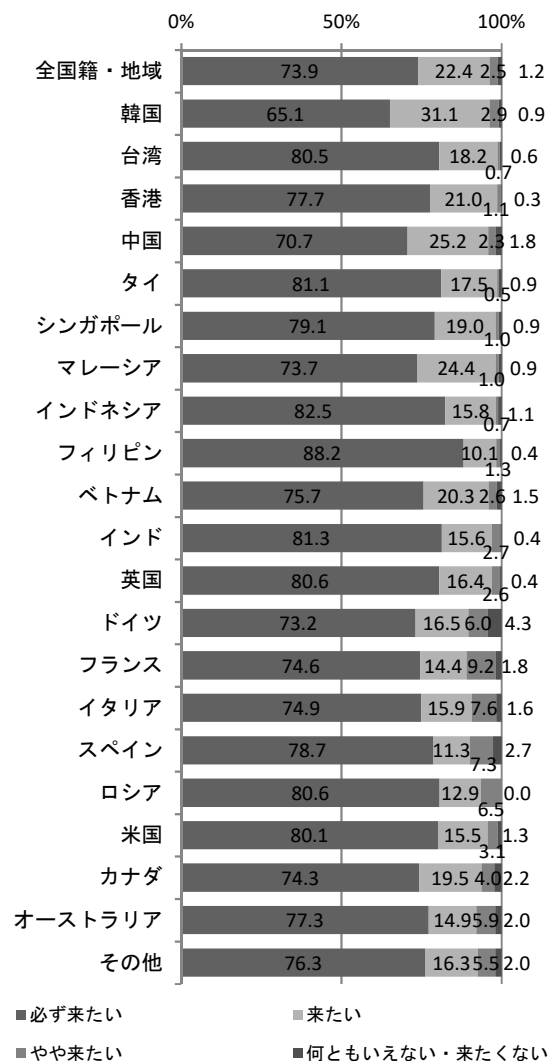
(2) 日本への再訪意向

- 日本への再訪意向では、「必ず来たい」が73.9%、「来たい」が22.4%である（図表4-2）。
- 国籍・地域別では、台湾、タイ、インドネシア、フィリピン、インド、英国、ロシア、米国で「必ず来たい」の割合が8割超と高い。

図表 4-1 訪日旅行全体の満足度（国籍・地域別）



図表 4-2 日本への再訪意向（国籍・地域別）



(3) 最も満足した購入商品

- 最も満足した購入商品をみると、「その他買い物代」(23.4%)、「衣類」(17.5%)、「菓子類」(17.1%)の順で高い(図表4-3)。
- 満足した理由をみると、「その他買い物代」では「デザインが良い・かわいい」が多かった。「衣類」では「品質が良い」、「菓子類」では「美味しい」とする回答が最も多かった。

(4) 最も満足した飲食

- 最も満足した飲食をみると、「肉料理」(32.4%)、「ラーメン」(18.7%)、「寿司」(15.0%)の順で高い(図表4-4)。
- 満足した理由をみると、全体的に「美味しい」が高く、「肉料理」では「好きな料理・食材である」、「ラーメン」では「人気がある・有名」、「寿司」では「食材が新鮮」の選択率が「全体」と比べて高くなった。

図表 4-3 最も満足した購入商品とその理由 (全国籍・地域)

商品区分	【満足した理由】(複数回答)													
	(自由記入による単一回答)	美味しい	品質が良い	自国で入手が難しい	価格が手頃・自国より安い	日本製	伝統的・日本独特	好きなブランド・商品である	デザインが良い・かわいい	人気がある・有名	お土産に良い・頼まれた	便利だから	その他	(%)
菓子類	17.1	80.3	28.2	14.4	10.9	17.1	7.0	10.1	7.0	16.0	28.2	1.6	0.0	
酒類	4.4	55.9	28.9	23.1	31.2	24.5	13.5	13.8	3.1	15.0	24.6	0.8	0.3	
生鮮農産物	0.9	89.6	56.7	19.3	18.2	24.3	1.1	5.3	1.3	3.8	4.1	1.1	0.0	
その他食料品・飲料・たばこ	5.6	71.7	39.0	22.9	26.5	25.1	15.2	9.7	5.8	12.6	13.9	6.2	0.6	
化粧品・香水	8.0	0.0	60.7	12.1	35.9	32.1	3.8	31.3	11.0	16.3	8.7	2.7	0.6	
医薬品	4.7	0.0	67.7	25.5	23.7	40.0	2.7	8.8	1.8	13.7	16.3	2.9	0.0	
健康グッズ・トイレットリー	0.5	0.0	58.5	25.9	20.8	23.4	10.5	9.1	9.7	9.8	9.8	18.5	0.0	
衣類	17.5	0.0	50.6	18.6	43.5	20.2	8.1	25.2	49.6	13.2	5.1	3.0	0.1	
靴・かばん・革製品	9.9	0.0	47.5	13.7	43.7	13.7	2.3	39.9	41.9	12.8	3.6	3.1	0.4	
電気製品	2.5	0.0	58.0	17.5	40.7	36.7	1.4	23.3	11.8	11.2	4.2	7.5	0.5	
時計・フィルムカメラ	1.2	0.0	51.9	13.2	38.0	43.2	4.6	30.2	35.1	10.7	4.8	2.9	0.5	
宝石・貴金属	0.2	0.0	45.7	6.4	2.5	30.2	8.4	19.6	65.1	12.8	1.4	0.0	0.0	
民芸品・伝統工芸品	2.5	0.0	29.9	30.4	12.1	48.0	54.6	6.6	55.4	9.4	23.6	3.2	0.7	
本・雑誌・ガイドブックなど	1.1	0.0	13.8	45.8	17.4	27.6	23.1	28.8	20.9	19.5	13.9	4.5	1.4	
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.6	0.0	21.1	56.6	31.0	21.5	11.7	57.3	11.0	34.5	9.2	4.7	0.0	
その他買い物代	23.4	0.0	29.7	26.1	22.5	24.2	14.1	28.3	51.4	18.3	12.2	2.4	0.5	
その他	0.2	0.0	10.3	4.6	23.0	13.9	37.0	1.0	16.4	22.9	0.0	39.1	7.9	
全体	100.0	20.9	40.7	20.1	28.3	23.8	9.9	22.6	30.1	15.1	13.3	2.9	0.3	

図表 4-4 最も満足した飲食とその理由 (全国籍・地域)

飲食区分	【満足した理由】(複数回答)													
	(自由記入による単一回答)	美味しい	食材が新鮮	自国で味わうことができない	価格が手頃・自国より安い	量や種類が適切	伝統的・日本独特	好きな料理・食品である	盛り付けの見た目が良い	人気がある・有名	健康に良い	店のサービスや雰囲気	その他	(%)
寿司	15.0	93.0	70.5	13.9	21.2	8.5	20.0	21.1	7.0	9.9	7.7	9.7	0.0	
ラーメン	18.7	95.4	29.6	18.2	18.9	8.2	20.1	22.3	4.9	17.8	3.0	8.4	0.1	
そば・うどん	4.6	96.0	27.5	22.6	15.6	9.1	26.3	15.2	4.3	8.1	6.2	9.7	0.1	
肉料理	32.4	95.1	46.8	16.5	19.0	8.9	17.8	23.4	6.0	12.0	2.3	12.0	0.0	
魚料理	10.3	90.7	66.9	17.0	16.1	6.0	18.2	21.4	7.1	9.3	6.1	8.2	0.1	
小麦粉料理	3.3	93.5	37.6	35.2	22.1	8.8	40.5	16.6	10.2	17.6	2.8	15.9	0.2	
その他日本料理	5.0	91.0	42.3	26.1	18.4	11.7	31.3	16.8	14.0	9.0	7.9	12.3	0.0	
外国の料理	0.8	91.8	27.9	6.2	12.1	7.1	3.5	23.1	7.5	6.3	2.3	17.4	3.8	
その他料理	4.7	93.2	37.0	19.6	17.7	11.1	17.7	21.1	9.1	9.6	3.9	13.2	0.4	
菓子類	2.3	91.9	21.2	22.8	14.1	4.3	16.2	14.7	8.2	11.8	1.0	4.7	0.0	
果物	0.6	93.7	55.3	11.9	17.7	0.2	4.3	6.5	1.8	9.3	1.8	0.0	0.0	
酒	0.9	90.2	31.6	31.5	34.4	9.5	30.4	11.6	5.6	22.3	8.6	11.7	0.0	
その他食料品・飲料	1.5	88.3	25.7	27.7	15.7	6.6	21.5	11.0	3.6	12.7	19.5	3.2	0.0	
全体	100.0	93.8	46.2	18.3	18.8	8.4	20.4	21.0	6.7	12.3	4.4	10.3	0.1	

5. 旅行情報と旅行情報源

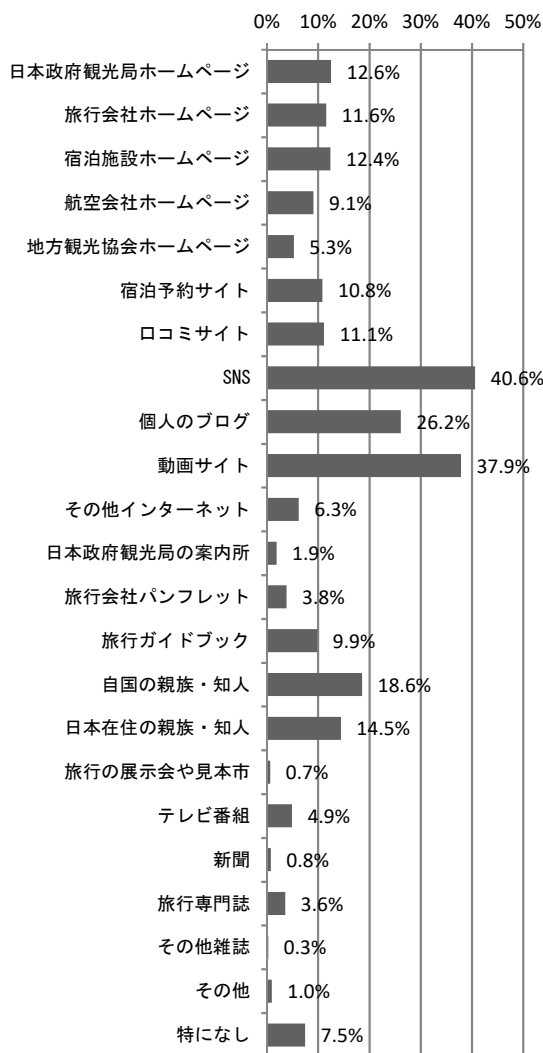
(1) 出発前に役に立った旅行情報源

- 出発前に役に立った旅行情報源では、「SNS」(40.6%)、「動画サイト」(37.9%)、「個人のブログ」(26.2%)の順が多い(図表5-1)。
- 「日本政府観光局ホームページ」の選択率は12.6%、「日本政府観光局の案内所」の選択率は1.9%であった。

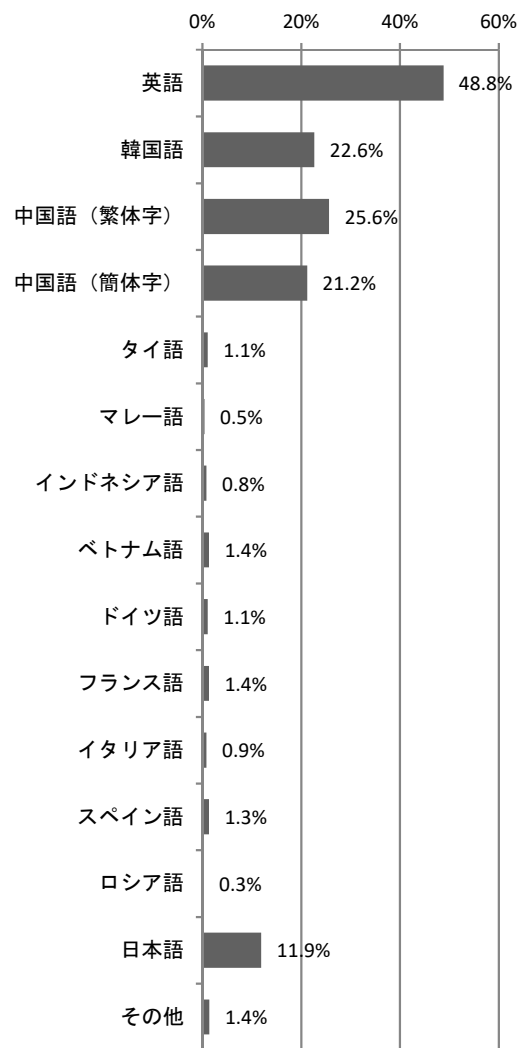
(2) 出発前に旅行情報を得た言語

- 出発前に役に立った旅行情報源の言語では、「英語」が48.8%と最も多い。次いで、「中国語(繁体字)」(25.6%)、「韓国語」(22.6%)、「中国語(簡体字)」(21.2%)、「日本語」(11.9%)の順が多い(図表5-2)。

図表 5-1 出発前に役に立った旅行情報源
(全国籍・地域、複数回答)



図表 5-2 出発前に役に立った旅行情報源の言語
(全国籍・地域、複数回答)



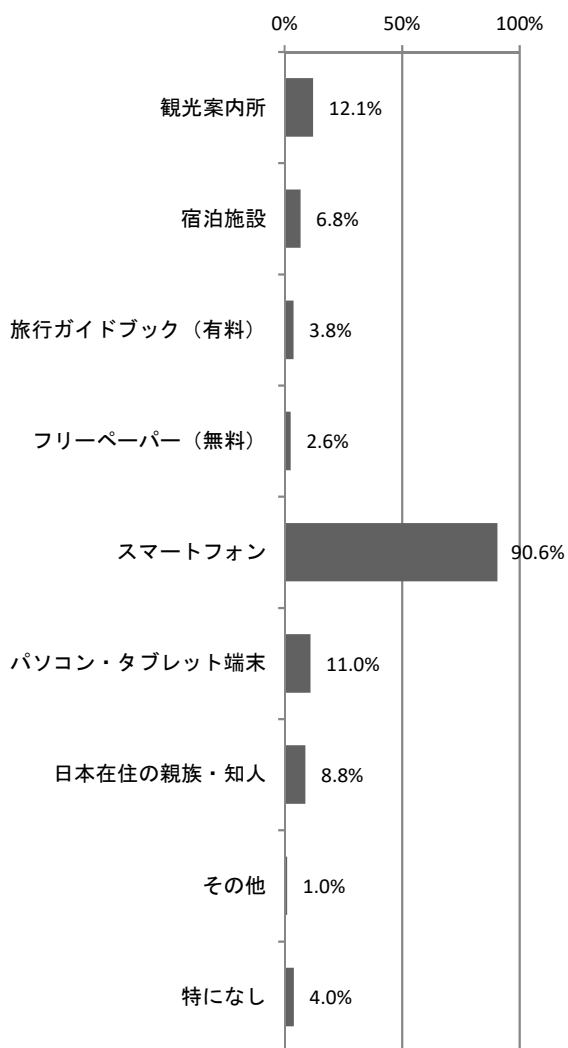
(3) 日本滞在中に役に立った旅行情報源

- 日本滞在中に役に立った旅行情報源では、「スマートフォン」が90.6%と最も多い。次いで、「観光案内所」(12.1%)、「パソコン・タブレット端末」(11.0%)、「日本在住の親族・知人」(8.8%)、「宿泊施設」(6.8%)の順で多い(図表5-3)。

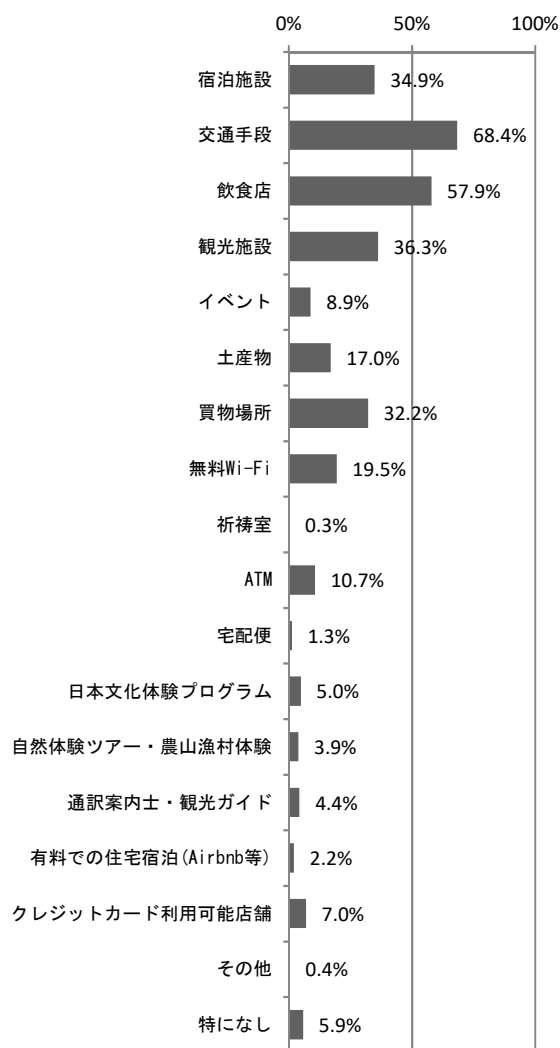
(4) 日本滞在中に役に立った旅行情報

日本滞在中に役に立った旅行情報では、「交通手段」が68.4%と最も多い。次いで「飲食店」(57.9%)、「観光施設」(36.3%)、「宿泊施設」(34.9%)、「買物場所」(32.2%)、「無料Wi-Fi」(19.5%)の順で多い(図表5-4)。

図表 5-3 日本滞在中に役に立った旅行情報源 (全国籍・地域、複数回答)



図表 5-4 日本滞在中に役に立った旅行情報 (全国籍・地域、複数回答)

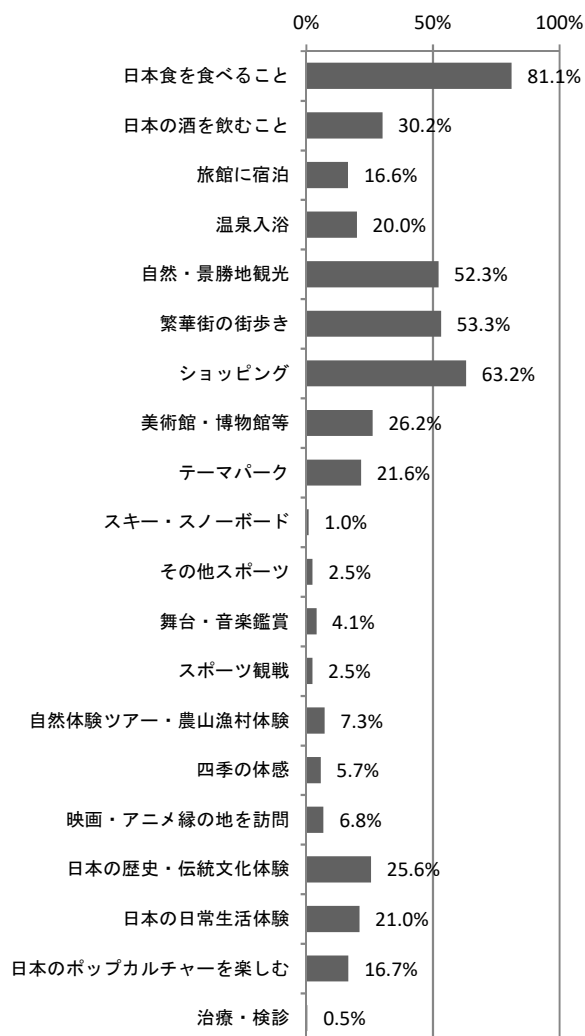


6. 日本滞在中の行動

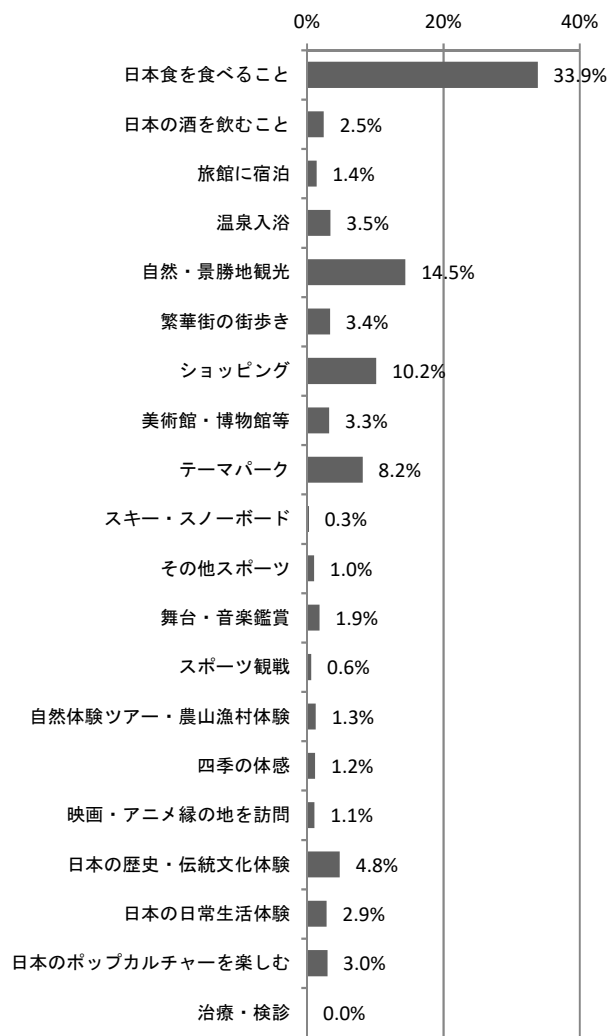
(1) 訪日前に期待していたこと

- 訪日前に期待していたことを複数回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」が81.1%と最も多かった。次いで「ショッピング」(63.2%)、「繁華街の街歩き」(53.3%)、「自然・景勝地観光」(52.3%)の順が多い(図表6-1)。
- 訪日前に最も期待していたことを単一回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」(33.9%)、「自然・景勝地観光」(14.5%)、「ショッピング」(10.2%)、「テーマパーク」(8.2%)の順が多い(図表6-2)。

図表 6-1 訪日前に期待していたこと
(全国籍・地域、複数回答)



図表 6-2 訪日前に最も期待していたこと
(全国籍・地域、単一回答)



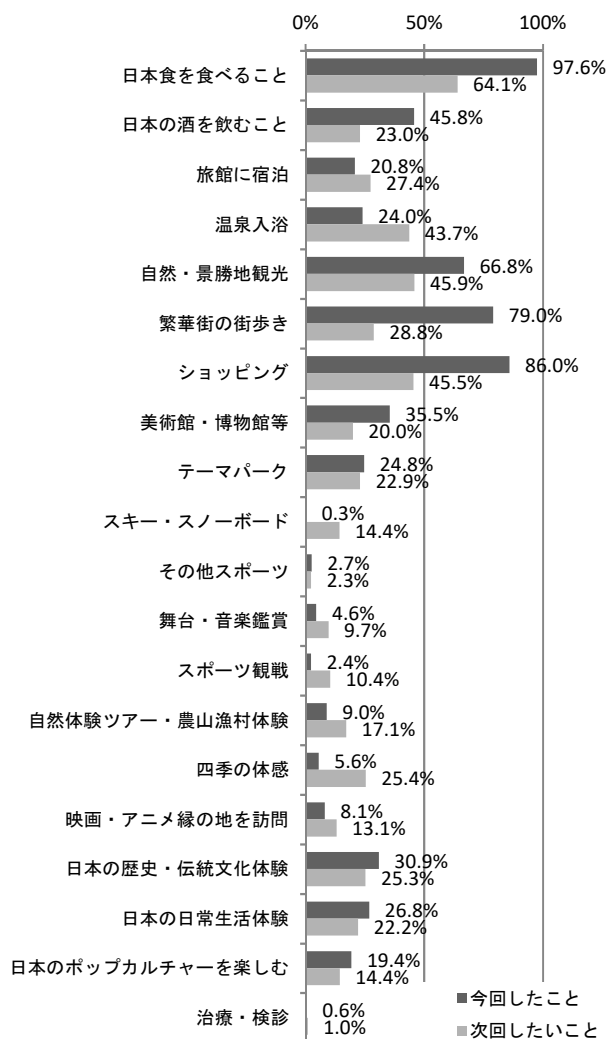
(2) 今回したことと次回したいこと

- 今回の日本滞在中にしたことでは、「日本食を食べること」(97.6%)、「ショッピング」(86.0%)、「繁華街の街歩き」(79.0%)の順で選択率が高い(図表 6-3)。
- 次回日本を訪れた時にしたいことでは、「日本食を食べること」(64.1%)、「自然・景勝地観光」(45.9%)、「ショッピング」(45.5%)の順で選択率が高い(図表 6-3)。

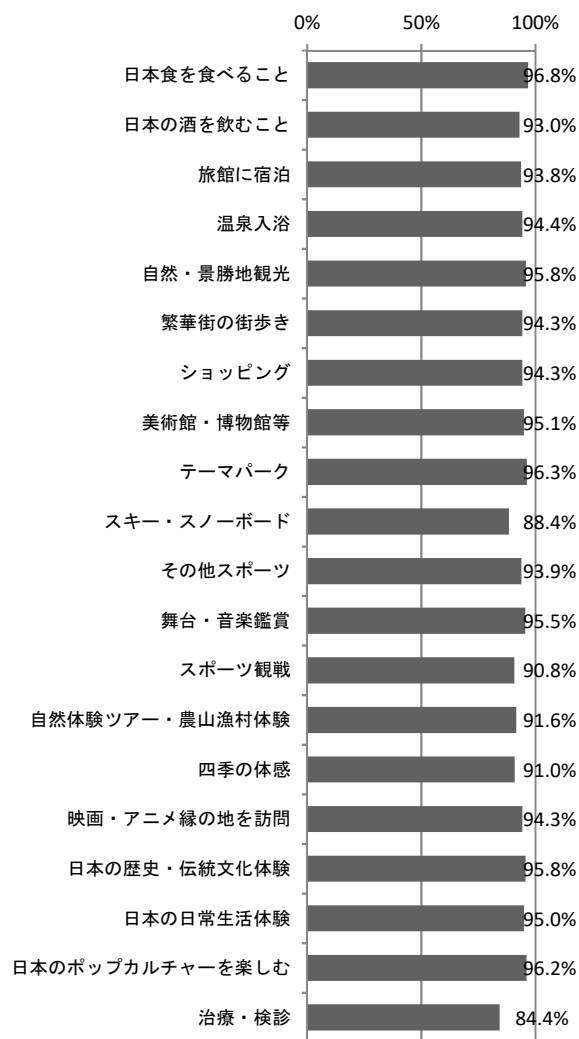
(3) 今回したことの満足度

- 今回の日本滞在中にしたことの満足度を尋ねた結果、「満足した」と回答した人の割合は「日本食を食べること」(96.8%)、「テーマパーク」(96.3%)、「日本のポップカルチャーを楽しむ」(96.2%)、「自然・景勝地観光」(95.8%)、「日本の歴史・伝統文化体験」(95.8%)の順で多い(図表 6-4)。

図表 6-3 今回したことと次回したいこと
(全国籍・地域、複数回答)



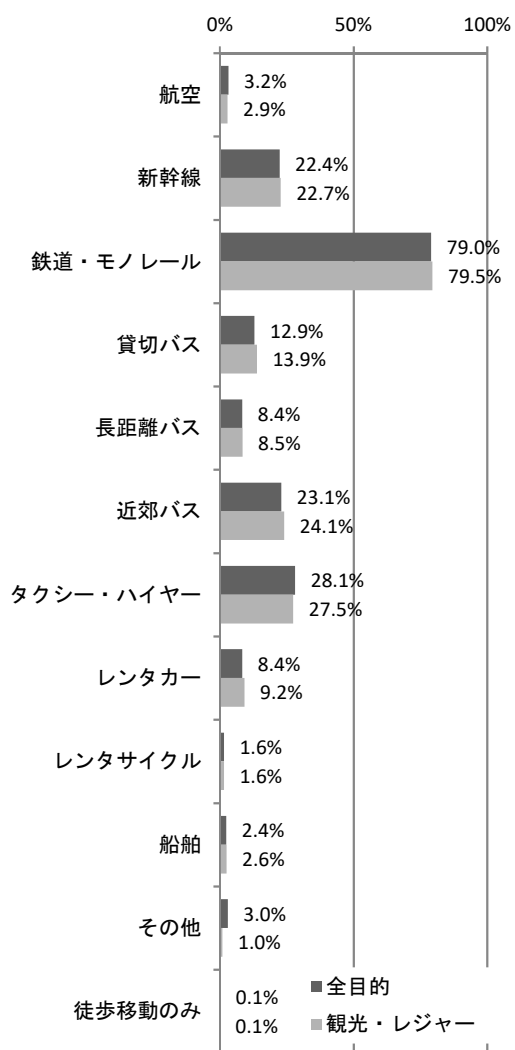
図表 6-4 今回した人のうち満足した人の割合
(全国籍・地域、複数回答)



(4) 利用した交通手段

- 利用した交通手段は「鉄道・モノレール」(79.0%)が最も多く、次いで「タクシー・ハイヤー」(28.1%)、「近郊バス」(23.1%)、「新幹線」(22.4%)、「貸切バス」(12.9%)の順が多い(図表6-5)。

図表 6-5 利用した交通手段
(全国籍・地域、複数回答)



II インバウンド消費動向調査(旧 訪日外国人消費動向調査)について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

個々の外国人の消費動向データの利用を目的とし、訪日外国人旅行者個人の消費動向等をきめ細かく把握・分析し、観光政策における EBPM 強化や戦略的な施策立案等に活用する。

本調査では、目的に応じて以下に示す3つの調査を四半期毎に実施している。

A 1 全国調査

国籍・地域毎の旅行者の詳細な消費データの収集。

B 1 地域調査

都道府県毎の旅行者の消費データの収集。

B 2 クルーズ調査

クルーズ客(船舶観光上陸許可を得た訪日外国人)の消費データの収集。

(2) 調査の沿革

2010年(平成22年)

4-6月期より調査開始。

2014年(平成26年)

高松空港を調査地点に追加。

インドネシア、フィリピン、ベトナムを調査対象に追加。

調査票の変更(ラウンジ利用や消費税免税手続きに係る設問の追加等)。

2015年(平成27年)

函館空港、小松空港、富士山静岡空港、関門(下関)港、巖原港、鹿児島空港を調査地点に追加。

イタリア、スペインを調査対象に追加。
調査票の変更(申込方法や訪問地毎の支出金額、世帯年収に係る設問の追加等)。

2018年(平成30年)

従来調査(A1全国調査)に加え、B1地域調査、B2クルーズ調査を新たに開始。
青森空港、茨城空港、富山空港、岡山空港、米子空港、佐賀空港、宮崎空港、境港、長崎港、那覇港を調査地点に追加。

調査票の変更(訪日頻度に係る設問の追加、支出金額の費目細分化等)。

2019年(平成31年、令和元年)

B2クルーズ調査において平良港、石垣港を調査地点に追加。

2020年(令和2年)

調査票の変更(A1全国調査では意識調査に係る設問の追加。B1地域調査では日本への来訪回数や同行者に係る設問の追加と主な来訪目的に係る設問の選択肢変更等。B2クルーズ調査では専用の調査票を新設)。

2024年(令和6年)

従来の訪日外国人消費動向調査(統計法に基づく一般統計調査)は1-3月期調査をもって中止し、個々の外国人の消費動向データの利用を目的とする調査として4-6月期より新たにインバウンド消費動向調査を開始。

(3) 調査の根拠法令

本調査は、観光立国推進基本法第25条に基づき実施した。

(4) 調査の対象

A 1 全国調査

日本国内の17空海港(※1)から出国する訪日外国人。

(※1) 新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、小松空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡

空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港（下関）、博多港、厳原港

B 1 地域調査

日本国内の 25 空海港（※2）から出国する訪日外国人。

（※2）新千歳空港、函館空港、青森空港、仙台空港、茨城空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、富山空港、小松空港、関西国際空港、米子空港、岡山空港、広島空港、高松空港、福岡空港、佐賀空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港、境港、関門港（下関）、博多港、厳原港

B 2 クルーズ調査

博多港、長崎港、那覇港、平良港又は石垣港に寄港するクルーズ船のうち、同港が日本国内の最終寄港地であるクルーズ船に乗船する訪日外国人であって、出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）第 14 条の 2 に基づく船舶観光上陸の許可を得て同港に上陸した者。

ただし、A 1 全国調査、B 1 地域調査及び B 2 クルーズ調査いずれも以下の者を除く。

- 1) 日本に入国していないトランジット客
- 2) 乗員
- 3) 1 年以上の滞在者
- 4) 出入国管理及び難民認定法に基づく永住者、永住者の配偶者等及び定住者

（5）抽出方法

本調査は標本調査であるが、空海港の国際線ターミナル搭乗待合ロビーにおいて日本から出国する訪日外国人を対象とした聞き取り調査の手法を採用しており、有意抽出法に該当する。したがって、厳密には調査から得られた結果の性質を理論的に評価することはできない。しかし、調査結果を可能な限り母集団の持つ性質に近づけるため、無作為抽出法で一般に用いられる標本設計の手法を適用して標本サイズを決定している。

A 1 全国調査

A 1 全国調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数

（前年同期）のうち、調査地点である 17 空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の国籍・地域により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 1 地域調査

B 1 地域調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である 25 空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の出国港により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地と見込まれるクルーズ船を各調査港における調査対象の候補とする。調査対象候補となるクルーズ船を、次の寄港地（外国）の国・地域毎に層化した上で、予定寄港回数に基づく比例配分法によって調査対象便を抽出する。便毎の調査対象者数は均等割当とし、客層等の偏りを防ぐため 1 便当たりの回収数上限を 50 票と設定する。

（6）目標精度と標本サイズ

A 1 全国調査

国籍・地域毎の「1 人当たり旅行総支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表 1 のように定めた。

表 1 A 1 全国調査の目標精度

国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
韓国	3.0%	780	英国	7.0%	190
台湾	3.0%	610	ドイツ	7.0%	290
香港	3.0%	650	フランス	7.0%	140
中国	3.0%	1,000	イタリア	10.0%	80
タイ	5.0%	300	スペイン	10.0%	70
シンガポール	7.0%	140	ロシア	10.0%	110
マレーシア	7.0%	360	米国	3.0%	1,250
インドネシア	7.0%	220	カナダ	7.0%	220
フィリピン	7.0%	250	オーストラリア	5.0%	240
ベトナム	7.0%	350	その他	5.0%	320
インド	10.0%	260	合計		7,830

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016年（平成28年）調査結果を用いて導出した。その結果、A1全国調査の標本サイズは各四半期7,830票となった。なお、調査港（出国港）毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てる。

B1 地域調査

訪問地（都道府県）毎の「1人1日当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表2のように定めた。

表2 B1地域調査の目標精度

都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
北海道	5.0%	420	三重県	20.0%	140
青森県	20.0%	50	滋賀県	20.0%	50
岩手県	20.0%	50	京都府	5.0%	740
宮城県	20.0%	50	大阪府	5.0%	780
秋田県	20.0%	50	兵庫県	5.0%	900
山形県	20.0%	50	奈良県	5.0%	3,160
福島県	20.0%	50	和歌山県	20.0%	80
茨城県	20.0%	80	鳥取県	20.0%	50
栃木県	10.0%	180	島根県	20.0%	50
群馬県	20.0%	50	岡山県	20.0%	60
埼玉県	20.0%	50	広島県	10.0%	170
千葉県	5.0%	4,890	山口県	20.0%	110
東京都	5.0%	1,140	徳島県	20.0%	50
神奈川県	5.0%	830	香川県	20.0%	50
新潟県	20.0%	50	愛媛県	20.0%	60
富山県	10.0%	290	高知県	20.0%	50
石川県	10.0%	210	福岡県	5.0%	530
福井県	20.0%	50	佐賀県	20.0%	70
山梨県	10.0%	600	長崎県	10.0%	120
長野県	10.0%	290	熊本県	10.0%	150
岐阜県	10.0%	200	大分県	10.0%	120
静岡県	10.0%	840	宮崎県	20.0%	50
愛知県	5.0%	950	鹿児島県	20.0%	50
			沖縄県	5.0%	400

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2019年（平成31年/令和元年）調査の実績に基づいて導出した。各都道府県訪問者の出現率は出国港によって異なるため、標本サイズに出現率の逆数を乗じて調査港（出国港）毎の必要回収数を算出し、B1地域調査の標本サイズは各四半期24,620票となった。なお、訪日外国人の国籍・地域毎の標本配分は、前年同期

の外国人単純出国者数に比例して割り当てる。

B2 クルーズ調査

調査港（国内最終寄港地）毎の「1人当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表3のように定めた。

表3 B2クルーズ調査の目標精度

最終寄港地 (3区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
博多港	5.0%	430
長崎港	5.0%	530
那覇・平良・石垣港	5.0%	430
総数		1,390

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2018年（平成30年）1-6月期調査の実績に基づいて導出した。その結果、B2クルーズ調査の標本サイズは各四半期1,390票となった。

(7) 調査事項

A1 全国調査

入国日、入国した空海港、在留資格、国籍・地域、居住地、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、前回の来訪時期、過去1年間の来訪回数、主な来訪目的、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、旅行手配方法、ツアー料金又は往復航空（船舶）料金、申込方法、ツアー料金に含まれるサービス、日本滞在中の費目別支出、消費税免税手続き実施状況、世帯年収、その他意識調査

B1 地域調査

国籍・地域、旅行手配方法、ツアー料金又は往復航空（船舶）料金、Japan Rail Passの利用状況と料金、入国港、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、訪問地毎の費目別支出、利用した交通手段、買物場所、利用した決済方法、性別、年齢、在留資格、入国日、同行者、日本への来訪回数、主な来訪目的、その他意識調査

B 2 クルーズ調査

入国日、在留資格、国籍・地域、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、主な来訪目的、日本国内の寄港地における旅行手配方法、クルーズ船料金、買物費目、寄港地、寄港地毎の費目別支出

(8) 調査の時期

2024年7月9日（火）～9月22日（日）

注）今期は下記空港で調査を実施した。

- ・ A 1 全国調査：新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、小松空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港（下関）、博多港
- ・ B 1 地域調査：新千歳空港、函館空港、青森空港、仙台空港、茨城空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、富山空港、小松空港、関西国際空港、米子空港、岡山空港、広島空港、高松空港、福岡空港、佐賀空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港（下関）、博多港
- ・ B 2 クルーズ調査：博多港、長崎港、那覇港、石垣港、平良港

(9) 調査の方法

調査対象空海港の出国ロビーにいる訪日外国人に調査員が協力を求め、タブレット端末又は紙調査票を示しつつ、聞き取る方式（他計方式）により行う。

調査票対応言語

英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、タイ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、ベトナム語、以上 12 言語

2. 用語の解説

(1) 主要項目

一般客

クルーズ客（後述）を除く訪日外国人。

クルーズ客

出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第14条の2に基づく船舶観光上陸の許可を得た訪日外国人。

注）訪日旅行の往復に航空機等を利用し、日本国内発着のクルーズ船を利用した訪日外国人は一般客に含まれる。

団体ツアー

旅行会社等が企画したツアーで、大半の旅程を団体で行動するもの。

個人旅行向けパッケージ商品

個人旅行者向けに、往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった旅行商品。

個別手配

団体ツアーや個人旅行向けパッケージ商品を利用せず、往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配すること。

購入率

ある商品やサービスを購入した人の割合。

購入者単価

ある商品（又はサービス）を購入した人を分母として算出される、その商品（又はサービス）を購入する際に支払った支出金額の平均値。当該商品（又はサービス）を購入していない人も含めて算出される支出金額の平均値（費目別旅行消費単価）とは区別して使用される。

旅行前支出

団体ツアー参加者及び個人旅行向けパッケージ商品の利用者についてはパッケージツ

ア参加費が旅行前支出となる。一方、個別手配者については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃が旅行前支出となる。

旅行中支出

宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代等、訪日外国人が日本滞在中に支払った支出金額。宿泊費や交通費などで旅行前に決済された場合でも旅行中支出に含まれるが、パッケージツアー参加費に含まれる支出金額は含まれない。

旅行総支出

旅行前支出と旅行中支出の合計。

パッケージ内訳

パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費等の国内収入分。回答者から直接報告を得ることができないため、観光・レジャー目的の個別手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて推計する。

旅行支出

旅行中支出にパッケージ内訳を加算した金額。

旅行消費単価

1人当たり支出の総称であり、旅行中支出又は旅行支出の意。集計表の表題に使用している。

訪日外国人旅行消費額

旅行消費単価に旅行者数を乗じることにより推計される総額。

地方運輸局等

以下に示す10の地域区分。それぞれの地域区分に含まれる都道府県は以下の通り。

【1. 北海道】北海道

【2. 東北】青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

【3. 関東】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

- 【4. 北陸信越】新潟県、富山県、石川県、長野県
- 【5. 中部】福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- 【6. 近畿】滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県
- 【7. 中国】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【8. 四国】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【9. 九州】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- 【10. 沖縄】沖縄県

(2) 支出費目

a. 宿泊費

ホテル、旅館、国民宿舎、モーテル、簡易宿泊所、山小屋、下宿屋、保養所、ユースホテル、ゲストハウス、会員制の宿泊施設（タイムシェア、パッケージレンタルを含む）、有料での住宅宿泊、合宿所、長期滞在者の家賃

注) パッケージツアー料金に含まれる宿泊費は含まれない。出発前にインターネット等で決済したものを含む。日本国外での宿泊費は含まれない。

b. 飲食費

食堂、レストラン、専門料理店、そば・うどん店、すし店、酒場、ビヤホール、バー、キャバレー、ナイトクラブ、喫茶店、ハンバーガー店、飲食系の移動販売、配達飲食サービス

注) パッケージツアー料金又は宿泊費に含まれる飲食費は含まれない。弁当等を購入して持ち帰った場合には e4. その他食料品・飲料・酒・たばこに分類。

c. 交通費

c1. 航空

飛行機（日本国内の移動のみ）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の航空運賃は含まれない。

c2. Japan Rail Pass

JR グループ各社が外国人旅行者向けに提供している特別企画乗車券

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。「Japan Rail Pass」に加え、外国人旅行者向け JR 特別企画乗車券を含む。

c3. 新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール

JR、鉄道、路面電車、地下鉄、モノレール、案内軌条式鉄道（ゆりかもめ等）、鋼索鉄道

（ケーブルカー）、索道（ロープウェイ等、ただしスキー場におけるものを除く）、交通系電子マネーのカード購入費、フリー乗車券（c2. Japan Rail Pass に該当するものを除く）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スキー場におけるリフト・ロープウェイ等の利用料金は d7. スキー場リフトに分類。

c4. バス

乗合バス（路線バス、長距離バス等）、貸切バス（団体観光バス等）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c5. タクシー

ハイヤー、タクシー

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c6. レンタカー

レンタカー、レンタルバイク

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。ガソリン代や有料道路料金、有料駐車場料金は c8. その他交通費に分類。

c7. 船舶

船舶（日本国内の移動のみ）、遊覧船

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の船舶運賃は含まれない。貸ボートは d11. レンタル料、遊漁船は d12. その他娯楽等サービス費に分類。

c8. その他交通費

高速道路・有料道路・橋・トンネル等の通行料、駐車場料金、ガソリン代

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d. 娯楽等サービス費

d1. 現地ツアー・観光ガイド

日本国内での現地ツアー、観光案内(ガイド)

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d2. ゴルフ場・スポーツ施設利用料

次の施設利用料：ゴルフ場、ゴルフ練習場、ボウリング場、テニスコート、フィットネスクラブ、プール、アイススケート場

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ観戦料は d5. スポーツ観戦に分類。

d3. テーマパーク

次の入場料：テーマパーク、遊園地、公園

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d4. 舞台・音楽鑑賞

次のチケット料金：音楽コンサート、演劇、歌舞伎、寄席、サーカス

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d5. スポーツ観戦

次のチケット料金：相撲・サッカー・野球・ボクシング・プロレス・ゴルフの観戦

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ施設利用料は d2. ゴルフ場・スポーツ施設利用料に分類。

d6. 美術館・博物館・動植物園・水族館

次の入場料：美術館、博物館、動物園、植物園、水族館、公民館、図書館、城、プラネタリウム

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d7. スキー場リフト

スキー場における索道(リフト・ロープウェイ等)の利用料金

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d8. 温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション

スーパー銭湯、温泉浴場、砂湯、スパ、健康ランド、ネイルサロン、エステティックサロン、ボディケア、ハンドケア、フットケア、アロマオイルトリートメント、タラソセラピー

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d9. マッサージ・医療費

あん摩マッサージ、指圧マッサージ、はり、きゅう、病院・医院・診療所での診療、整体等の医業類似行為

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。処方薬の購入は e6. 医薬品に分類。

d10. 展示会・コンベンション参加費

次の参加費：展示会、コンベンション、見本市、博覧会、品評会、学会、その他会議

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d11. レンタル料

次のレンタル料：スキーウェア、スキー板、スノーボード板、スケート靴、スポーツ用品、自転車(レンタサイクル)、テント、ボート、ヨット、衣装、ビデオ、本、医療・福祉用具等

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d12. その他娯楽等サービス費

公営競技(競馬・競輪等)の入場料・投票券(馬券・車券等)、映画館、ビリヤード場、

囲碁・将棋所、マージャンクラブ、パチンコホール、ゲームセンター、ダンスホール、マリーナ、遊漁船、芸妓（げいぎ）、カラオケボックス、釣堀、銀行やATMの手数料、両替手数料、保険料、学校、専門学校等の授業料、託児サービス・介護サービスの利用料、コインシャワー、コインランドリー、クリーニング、理容店、美容院、ラウンジ利用料、手荷物預かり所、写真現像、郵便、宅配便の利用料金、公衆電話、携帯電話等の通話料金、等

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

e. 買物代

e1. 菓子類

キャラメル、ドロップ、キャンデー、チョコレート、チューインガム、焼菓子、ビスケット、米菓、和生菓子、洋生菓子、スナック菓子、その他菓子類

e2. 酒類

酒全般：清酒、みりん、ビール、発泡酒、ウイスキー類、果実酒類、合成清酒、焼酎、スピリッツ、リキュール

注) 飲食店等で消費した場合は**b. 飲食費**に分類。宿泊費に含まれている飲食費は**a. 宿泊費**に計上。

e3. 生鮮農産物

野菜（きのこを含む）、果物、花、種苗等

注) 卵・肉等の畜産物、魚等の水産物、加工食品は**e4. その他食料品・飲料・たばこ**に分類。

e4. その他食料品・飲料・たばこ

・**e1. 菓子類**～**e3. 生鮮農産物**を除く食料品全般：卵、肉類、魚介類、缶詰・瓶詰、乳製品、冷凍食品、食用油、精米、乾めん、即席めん、マカロニ・スパゲッティ、生めん、パン、ジャム、はちみつ、調味料・香辛料、

みそ、レトルト食品、即席ラーメン、総菜、弁当、豆腐、納豆、健康食品

・酒類を除く飲料全般：緑茶（茶葉）、紅茶（茶葉）、ウーロン茶（茶葉）、コーヒー（豆又は挽いたもの）、炭酸飲料、果実飲料、緑茶飲料、紅茶飲料、ウーロン茶飲料、コーヒー飲料、麦茶飲料、豆乳、ミネラルウォーター、スポーツドリンク、栄養ドリンク

・たばこ全般：紙巻たばこ、葉巻たばこ等

注) 飲食店等で消費した場合は**b. 飲食費**に分類。宿泊費に含まれている飲食費は**a. 宿泊費**に計上。

e5. 化粧品・香水

香水、オーデコロン、頭髮用化粧品（シャンプー、ヘヤーリンス、養毛剤、整髪料等）、皮膚用化粧品（クリーム、乳液、化粧水、パック等）、仕上用化粧品（ファンデーション、口紅、アイメイクアップ等）、日やけ止め、ひげそり用化粧品、歯磨剤

注) 歯ブラシ、化粧用ブラシは**e16. その他買物代**に分類。

e6. 医薬品

医薬品（風邪薬、胃腸薬、湿布薬、目薬等）、調剤薬局での処方薬、腋臭防止剤、洗眼薬、虫除け、外用消毒剤、軟膏剤、ビタミン剤等サプリメント、その他医薬部外品

e7. 健康グッズ・トイレタリー

マッサージ用具（電気製品でないもの）、美顔用具（電気製品でないもの）、エクササイズ用具（電気製品でないもの）、アイマスク、爪切り、磁気ネックレス、石けん・合成洗剤、界面活性剤、柔軟仕上げ剤、医療用ガーゼ、包帯、脱脂綿、ばんそうこう、綿棒、紙タオル、紙ナプキン、紙おむつ、生理用品、ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の紙製衛生用品

e8. 衣類

衣服、スポーツ用衣服、下着・寝着類、コート、レインコート、帽子、毛皮製衣服、ネクタイ、スカーフ、マフラー、ハンカチーフ、靴下、手袋、帽子、和服（着物、浴衣）、帯、足袋類等の和装製品

e9. 靴・かばん・革製品

靴・履物、スポーツ用靴（登山靴、スケート靴、ゴルフ靴等）、スリッパ、サンダル、かばん、ハンドバッグ、リュック、ランドセル、スーツケース、名刺入れ、財布、ベルト、腕時計用革バンド

e10. 電気製品

デジタルカメラ、ビデオカメラ、デスクトップパソコン、ノートパソコン、ディスプレイ・モニター、外部記憶装置、プリンタ、炊飯器、ジャーポット、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、電磁調理器、エアコン、扇風機、電気温水器、除湿器、加湿器、空気清浄機、電気アイロン、掃除機、洗濯機、洗濯物乾燥機、電気温水洗浄便座、電気ドライヤー、電気シェーバー、電気ストーブ、電気カーペット、電気マッサージ器具、ランプ、携帯電灯、懐中電灯、乾電池、蓄電池、ステレオセット、デジタルオーディオディスクプレイヤー、補聴器、スピーカ、マイクロホン、イヤホン、テレビ、ラジオ、電話機、ファクシミリ、携帯電話機、カーナビゲーションシステム、電気製品の部品

e11. 時計・フィルムカメラ

腕時計、置時計、ストップウォッチ、タイマー時計、時計の部品、フィルムカメラ、インスタントカメラ、カメラレンズ、カメラ付属品（ストロボ、三脚等）、望遠鏡、双眼鏡

e12. 宝石・貴金属

宝石（天然宝石、真珠等）や貴金属（金、銀、プラチナ等）が主体である以下の製品：アク

セサリー（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）、メダル、貴金属製たばこケース、貴金属製ナイフ・フォーク・スプーン・皿等の洋食器類、その他の身近細貨品

e13. 民芸品・伝統工芸品

日本の地域独自の手工芸品に該当する以下の製品：織物、染色品、陶磁器、漆器、ガラス容器、木工品、竹工品、金工品、仏壇、仏具、和紙、文具（筆、墨、硯、そろばん）、石工品、人形、玩具、扇子、団扇、和傘、提灯、和楽器、工芸用具、工芸材料、アクセサリ（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）

e14. 本・雑誌・ガイドブックなど

新聞、書籍、マンガ、雑誌、定期刊行物、その他の出版物、絵葉書、ポスター

e15. 音楽・映像・ゲームなどソフトウェア

音楽や映像等のコンテンツが記録されているメディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ、レコード等）、ゲームソフト、コンピュータソフト（CD、DVD等）、有料アプリ

e16. その他買物代

寝具、じゅうたん・カーペット、タオル、カーテン、クッション、家具、文房具、箸（はし）、台所用品（包丁、まな板等）、食器、アクセサリ、乗用車・二輪自動車・自転車とその部品、空の記録メディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ等）、玩具（おもちゃ）、ゲーム機、楽器、歯ブラシ、化粧用ブラシ、清掃用品（ほうき、はたき、モップ）、洋傘、マッチ、たばこ用ライター、模型（地球儀、食品模型）、魔法瓶、線香類、眼鏡、眼鏡わく、眼鏡レンズ、コンタクトレンズ、カメラフィルム等

注) e12. 宝石・貴金属又はe13. 民芸品・伝統工芸品に相当するものを除く。

f. その他

その他 (a. 宿泊費から e. 買物代までに相当しないもの)

注) 現地ツアー料金に含まれる保険料は d1. 現地ツアー・観光ガイドに計上。電話機本体の購入は e10. 電気製品に分類。

(3) 買物場所

百貨店・デパート

原則として百貨店協会加盟の店舗

家電量販店

PCやカメラ、電気製品を専門に販売する店舗

ファッション専門店

服・鞆・靴・アクセサリ・高級腕時計等を専門に販売する店舗

100円ショップ

店内の商品を原則として1点100日本円均一で販売する形態の小売店

高速道路のSA・道の駅

高速道路のサービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)、国土交通省に登録されている「道の駅」

観光地の土産店

観光地内にある小売店

宿泊施設

旅館・ホテル等の館内に併設されている土産店

スーパーマーケット

高頻度に消費される食料品や日用品等をセルフサービスで短時間にも買えるようにした小売店舗

コンビニエンスストア

年中無休で長時間の営業を行い、小規模な店舗において主に食品、日用雑貨等多数の品種を扱う形態の小売店

ドラッグストア

医薬品や化粧品、トイレタリーを中心とし、併せて日用品や文房具、食料品等を取扱う店舗

ディスカウントストア

一時的なセールではなく常に低価格で商品を提供する安売り店舗で、一般的には生鮮食料品を除く生活用品を総合的に取り扱う

アウトレットモール

「メーカー品」(通常、メーカーのブランド名を表示したもの)や、「高級ブランド品」(通常、百貨店等で高額でも購入者がつき、販売可能なもの)を低価格で販売する複数のアウトレット店舗を一箇所に集めモールを形成したショッピングセンター

都心の複合商業施設

都心部に立地し、商業施設や飲食施設、映画館、遊技場等の娯楽施設等が一体的に整備された施設

その他ショッピングセンター

複数の小売店舗が入居する商業施設で、上記の買物場所に当てはまらないもの

鉄道駅構内の店舗

駅構内にある小型売店

注) 駅ビルは「百貨店・デパート」に含まれる。

空港の免税店

空港の制限区域内にあるブランドショップ

クルーズ寄港港湾内の店舗

クルーズ船が寄港する港の旅客施設内に設置されている小売店舗(臨時店舗を含む)

その他

上記に当てはまらない買物場所(書店、CD・DVD・レコード販売店、家具屋、観光施設内にある店舗、アンテナショップ、郵便局、質屋・金券ショップ等)

3. 調査の結果

(1) 表章事項

A 1 全国調査及びB 1 地域調査

国籍・地域別、居住地別ならびに訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の3つの集計区分毎に、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表章している。加えて、国籍・地域別の消費税に係る免税手続き実施状況、国籍・地域別及び出国港別の都道府県別訪問率を表章している。

参考として、パッケージツアー参加費内訳を含む旅行消費単価や、訪日旅行に関する意識について国籍・地域別の集計を行っている。また、主な来訪目的が「観光・レジャー」の旅行者に限定して、国籍・地域別及び訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の集計区分による集計も行っている。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地別を集計区分とし、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、滞在日数を表章している。

(2) 集計方法

ウェイトバック集計

本調査の回答数は訪日外国人の「国籍・地域」や帰国時に利用する「出国港」によって区分される層毎で標本の抽出率が異なる。そのため、集計結果を母集団の構成に合わせることを目的として、集計表の作成にあたってはウェイトバック（重み付け）を施している。四半期調査結果では、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」ならびに法務省「出入国管理統計」の単純出国者数をウェイトとして使用している。

なお、集計表中に統計精度の参考値として「回答数」を付記しているが、これは回収された回答数を単純に計数したものであり、ウェイトバックを施していない。そのため、ウェイトバック集計により算出された「構成比」や「購入率」「選択率」などの統計値と、「回答数」を元に算出するこれらの数値は一致しない点に留意されたい。

当該ウェイトバック集計の算出式は次の通りである。

$$X = \frac{\sum_i x_i N_i}{\sum_i N_i}$$

X ：全体（全国籍・地域）の統計値

x_i ：層 i の統計値

N_i ：層 i の訪日外客数

さらに、A 1 全国調査とB 1 地域調査の整合を図るため、B 1 地域調査から導出される集計表については、以下の数値に関してA 1 全国調査の結果と一致するようにウェイトの調整を行っている。

- ・国籍・地域（21 区分）及び主な来訪目的（3 区分）別の訪日外国人旅行者数
- ・主な来訪目的（2 区分）別の旅行中支出（総額、大費目別）

旅行支出の円換算

旅行支出については、円又は自国の通貨で調査し、原則としてIMF（国際通貨基金）公表の日次データによる調査期間中平均値を用いて円換算した。但し、IMFにデータがない通貨のうち、ニュー台湾ドル及び香港ドルについてはFRB（連邦準備制度理事会）、インドネシア・ルピアおよびベトナム・ドンについては財務省貿易統計の資料を基に円換算を作成した。

(3) 調査結果の精度

A 1 全国調査

表 4 国籍・地域別 1 人当たり旅行総支出

国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数	国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数
韓国	2.8%	900	英国	4.8%	199
台湾	3.8%	751	ドイツ	3.4%	297
香港	4.2%	723	フランス	4.1%	158
中国	2.4%	1,105	イタリア	8.1%	112
タイ	3.8%	319	スペイン	4.7%	87
シンガポール	4.5%	152	ロシア	11.5%	31
マレーシア	4.5%	393	米国	2.0%	1,254
インドネシア	7.2%	231	カナダ	5.6%	223
フィリピン	4.7%	258	オーストラリア	3.5%	269
ベトナム	5.6%	375	その他	3.1%	346
インド	5.3%	250			
			総数		8,433

B 1 地域調査

表 5 訪問地別 1 人 1 日当たり旅行中支出

都道府県 (47区分)	標準 誤差率	有効 回答数	都道府県 (47区分)	標準 誤差率	有効 回答数
北海道	2.6%	1,300	三重県	16.7%	261
青森県	7.3%	174	滋賀県	12.3%	99
岩手県	11.3%	98	京都府	3.1%	4,616
宮城県	5.8%	266	大阪府	2.4%	5,558
秋田県	12.5%	73	兵庫県	6.8%	1,140
山形県	11.6%	71	奈良県	3.7%	2,482
福島県	14.1%	84	和歌山県	8.3%	235
茨城県	14.0%	154	鳥取県	8.8%	73
栃木県	7.5%	256	島根県	11.2%	56
群馬県	11.1%	99	岡山県	8.0%	214
埼玉県	11.9%	163	広島県	3.7%	832
千葉県	3.8%	5,860	山口県	10.9%	120
東京都	1.6%	8,176	徳島県	22.1%	77
神奈川県	5.0%	1,676	香川県	12.2%	216
新潟県	14.2%	89	愛媛県	10.1%	102
富山県	10.7%	262	高知県	12.5%	59
石川県	4.0%	533	福岡県	4.1%	2,030
福井県	12.1%	68	佐賀県	10.8%	125
山梨県	8.0%	1,389	長崎県	5.7%	296
長野県	8.1%	524	熊本県	5.2%	403
岐阜県	4.6%	776	大分県	5.7%	560
静岡県	8.1%	945	宮崎県	12.8%	68
愛知県	2.8%	2,090	鹿児島県	9.5%	183
			沖縄県	3.3%	605
			総数		25,783

B 2 クルーズ調査

表 6 国内最終寄港地別 1 人当たり旅行中支出

最終寄港地 (3区分)	標準 誤差率	有効 回答数
博多港	7.7%	427
長崎港	6.2%	584
那覇・平良・石垣港	7.2%	473
総数		1,484

(4) 利用上の注意

- 2018 年より調査方法を変更したため、2017 年までの数値との比較には留意が必要である。
- 各数値はウェイトバック集計後に四捨五入をしており、全体の数値と内訳の合計とは一致しない場合がある。
- 集計表で使用されている「-」は、該当する回答者のいない層（又は集計対象外の層）であることを示している。
- 集計事項により回答数が小さい数値については、取り扱いに留意されたい。
- 都道府県、地方運輸局等別の訪問地には、出入国空海港の所在地が含まれる。
- 各調査結果については、十分な回答数が確保できない場合もあるため、標準誤差率の大きい国籍・地域、都道府県、最終寄港地には留意されたい。

＜集計表＞

【一般客（全目的）】

表 1-1	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 1-2	居住地（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 1-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 2-1	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 2-2	居住地（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 2-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 3-1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-2	居住地（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-4	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 泊当たり旅行消費単価	
表 4-1	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数	
表 4-2	居住地（21 区分）別	平均泊数	
表 4-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数	
表 5-1	国籍・地域（21 区分）別	消費税に係る免税手続き実施状況	
表 6-1	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率	
表 6-2	出国港（25 区分）別	都道府県別訪問率	
参考 1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 2	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 3	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）	

【一般客（観光・レジャー目的）】

参考 4	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
参考 5	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
参考 6	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
参考 7	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数	
参考 8	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率	
参考 9	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 10	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 11	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）	
参考 12	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容	
参考 13	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
参考 14	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
参考 15	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数	

【クルーズ客（船舶観光上陸許可を得た外国人）】

表 7-1	国内最終寄港地（3 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 7-2	国内最終寄港地（3 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 7-3	国内最終寄港地（3 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 7-4	国内最終寄港地（3 区分）別	都道府県別訪問率（寄港地）	

訪日外国人の消費動向
2024年7-9月期 報告書

発行 2024年12月

編集 国土交通省観光庁
観光戦略課観光統計調査室

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2丁目1番2号

電話 代表 03 (5253) 8111

内線 27230

直通 03 (5253) 8325

URL <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>